

触覚的自我作品解説

MAU 2025/11/7

「眼・光」「手」「触覚」「構造」「自我の消失点」

5つのテーマの中に、それぞれの作品を埋め込みました

眼・光

他人の目

見えない世界の光

見えない世界の目

目が笑う

他人の目



魚が好む。

目が合ふところ 毎に訂正.

今日知は自分が全に見えたから、 $\tau=0$

「が合っているのか確認する」より早くして=

目のたか魚をくさすか 思ふ。

目につくと思ふ。 ~~無~~い
骨も中々、口口も、目につく ~~無~~い

同様に外側1700mm以内を目が合致し。(目が無い場合)

この魚は和のニルカが見えない。見てはいけり。至る至るにいます。気がする。自由に動かし、人に思ふ。

魚の目には涙がない。 氣にせが、自由に動ける人だと思ふ。

里の尾上には、知の身長のお2倍の長さの山がある。

手紙長が100の長い屋ビルを何年か

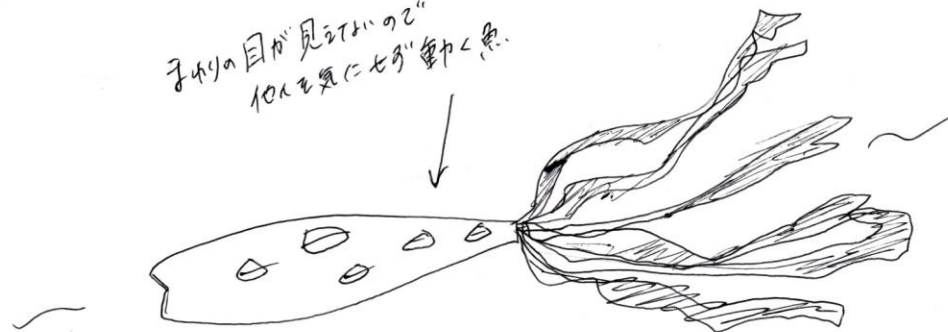
④ 軽やかに三句に二つ、魚は

私のあっぱれなところ



身のアウトラインに
~~赤い線を描く~~
2, 2 分組, T=0

子ゆりの目が見えてたの？
他人を気にせよ！ 早く！



魚が好き。

目が合わなくて安心するから。

今日私は自分が全く見えなかった。

目が合わないどころか姿も見えず、より安心した。

目のない魚をつくろうと思った。

骨も丸みえ、ウロコもくりぬかれてるのに 目だけ無い。

目かくしを外し、作品をみてみた。目が合わない。(目が無いので)。

この魚は私のことが見えない。見えないから生き生きしている気がする。

まわりの目に気づかず、気にせず、自由に動きまわっているんだと思う。

黒い尾ヒレは、私の身長の2倍の長さにした。

まあまあ長かった。この長い尾としを持ちつつ

軽やかに泳ぐこの魚は私のあこがれでもある。



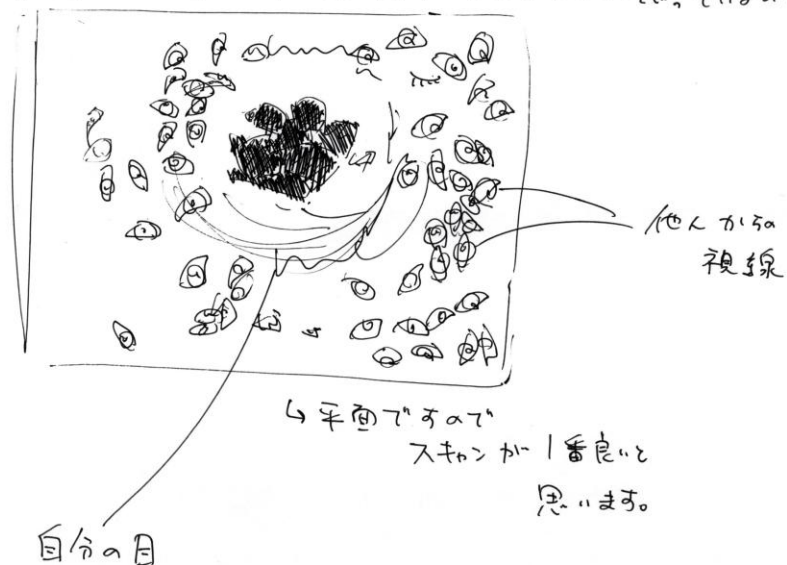
25023061 平出 さくら

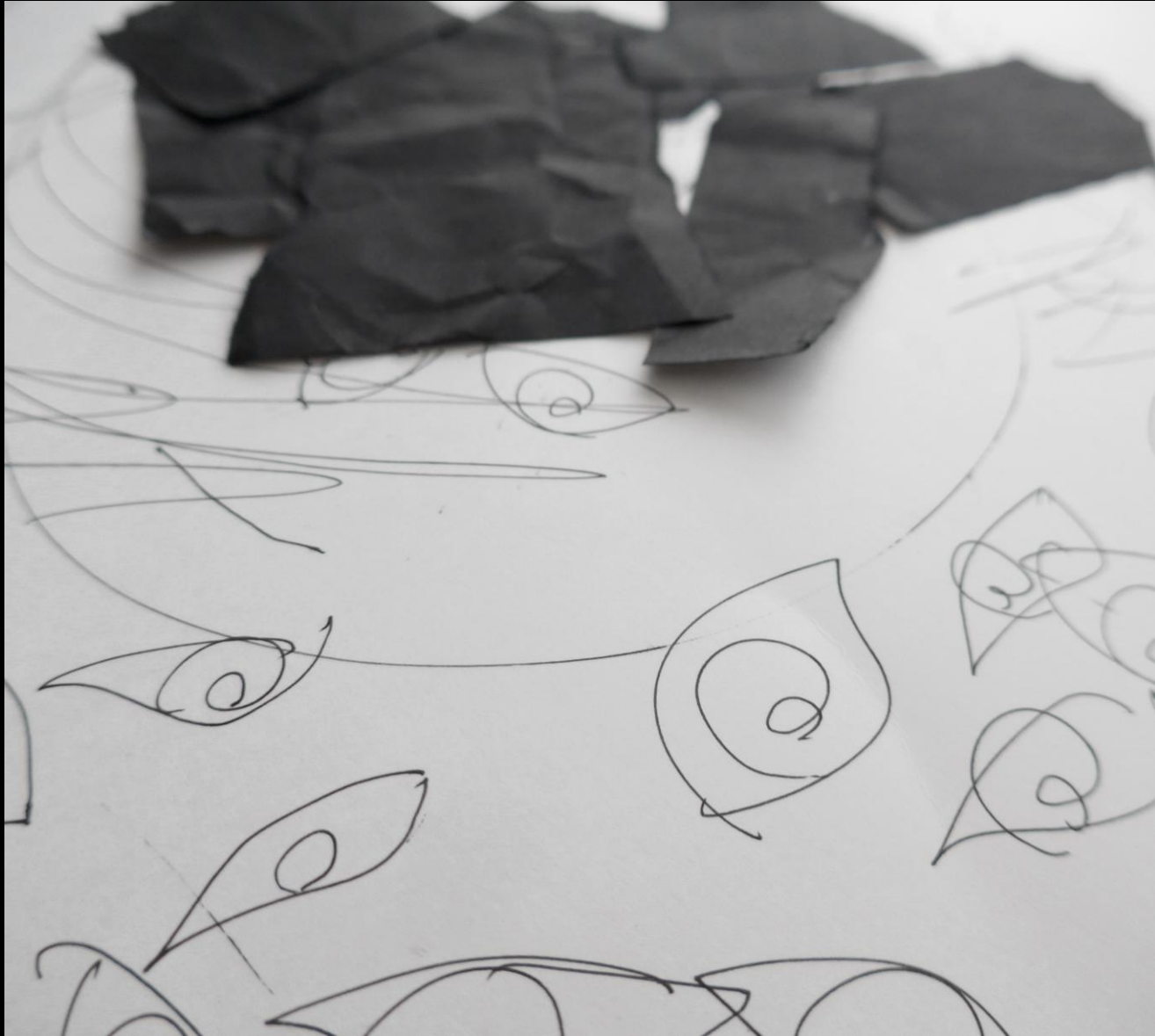


038

作品 解説 25023061 平出 さくら

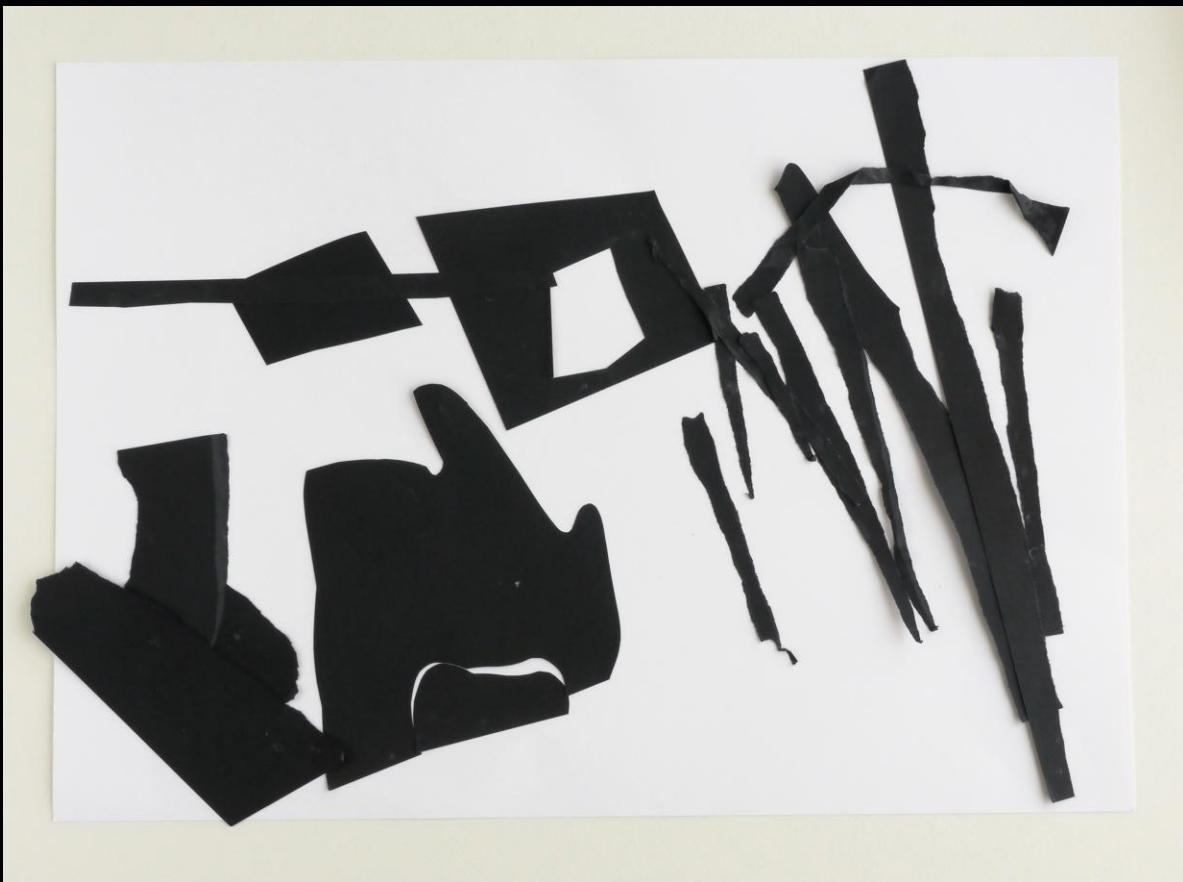
・私は「目」が好きで、一種の自慢だと思っています。そして自分の目に注目しているら、
 他人の「目」にも注目が向きました。自身の目と他人からの視線。最近では他人からの視線に
 悩むことが多く、言葉を選ばず「言う」と、とてもウザイ。めんどくさいと思っているのでこの2つを
 表現しました。





他人の目 うざい

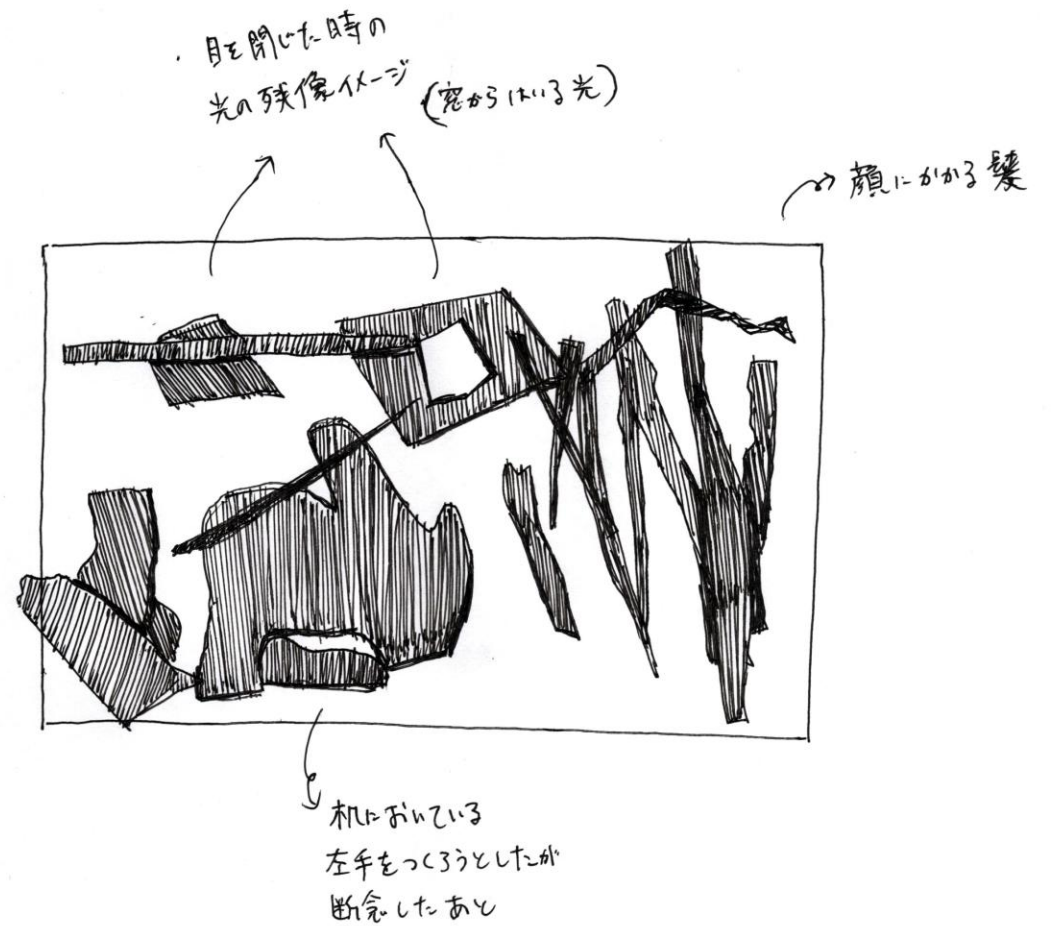
見えない世界の光



017

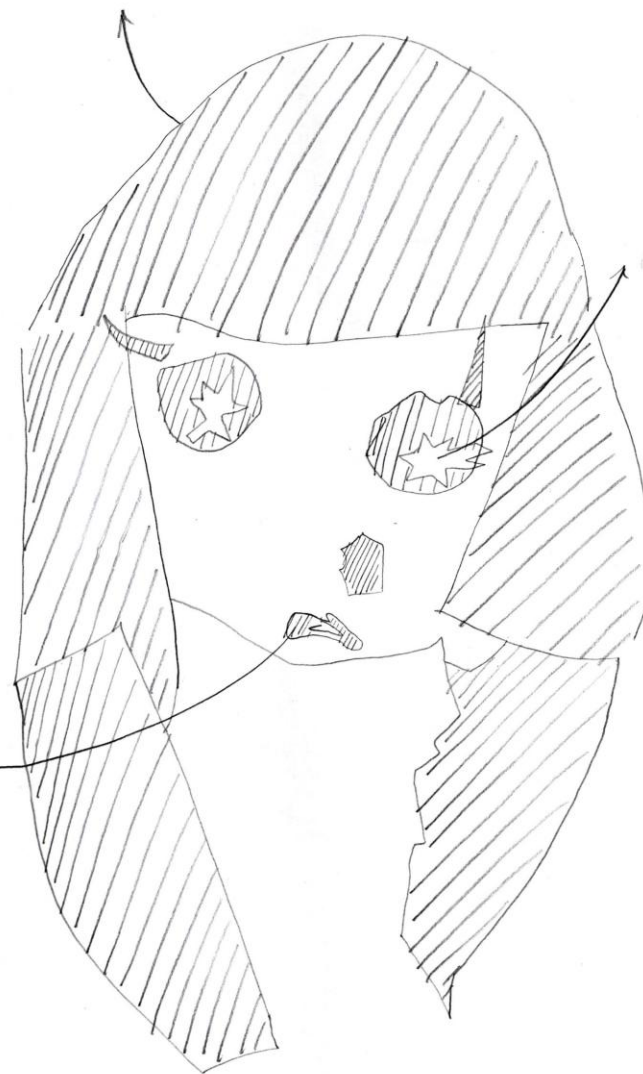
目を閉じた時の光の残像イメージ
窓から入る光

これを作っている時の視界や触覚なども平面におとしこめた。





髪の色が特徴的なので、気合を入れた。



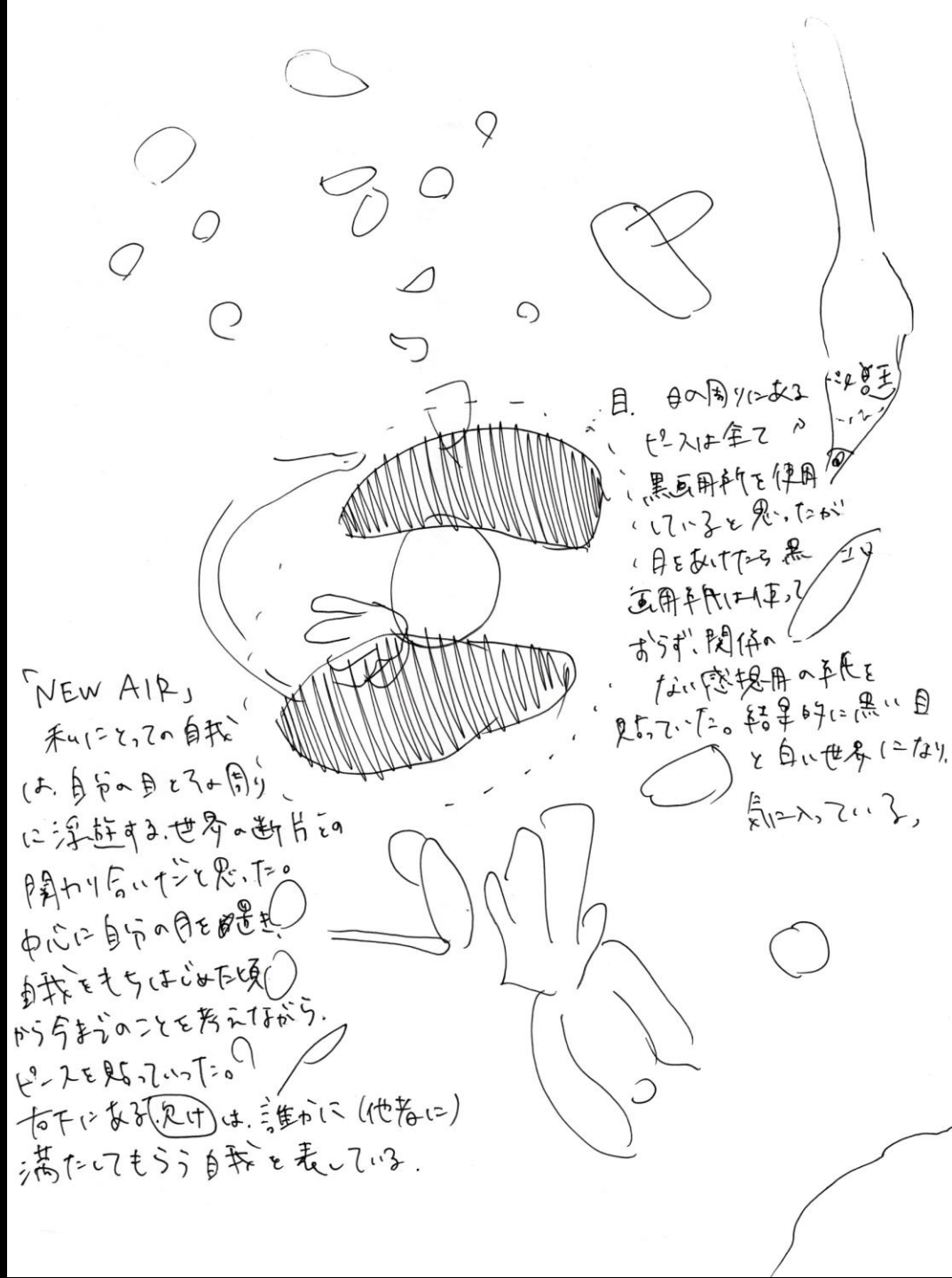
写真で撮ると、
目だけ目が光る感じが
よくある。
(出目? 水量?)

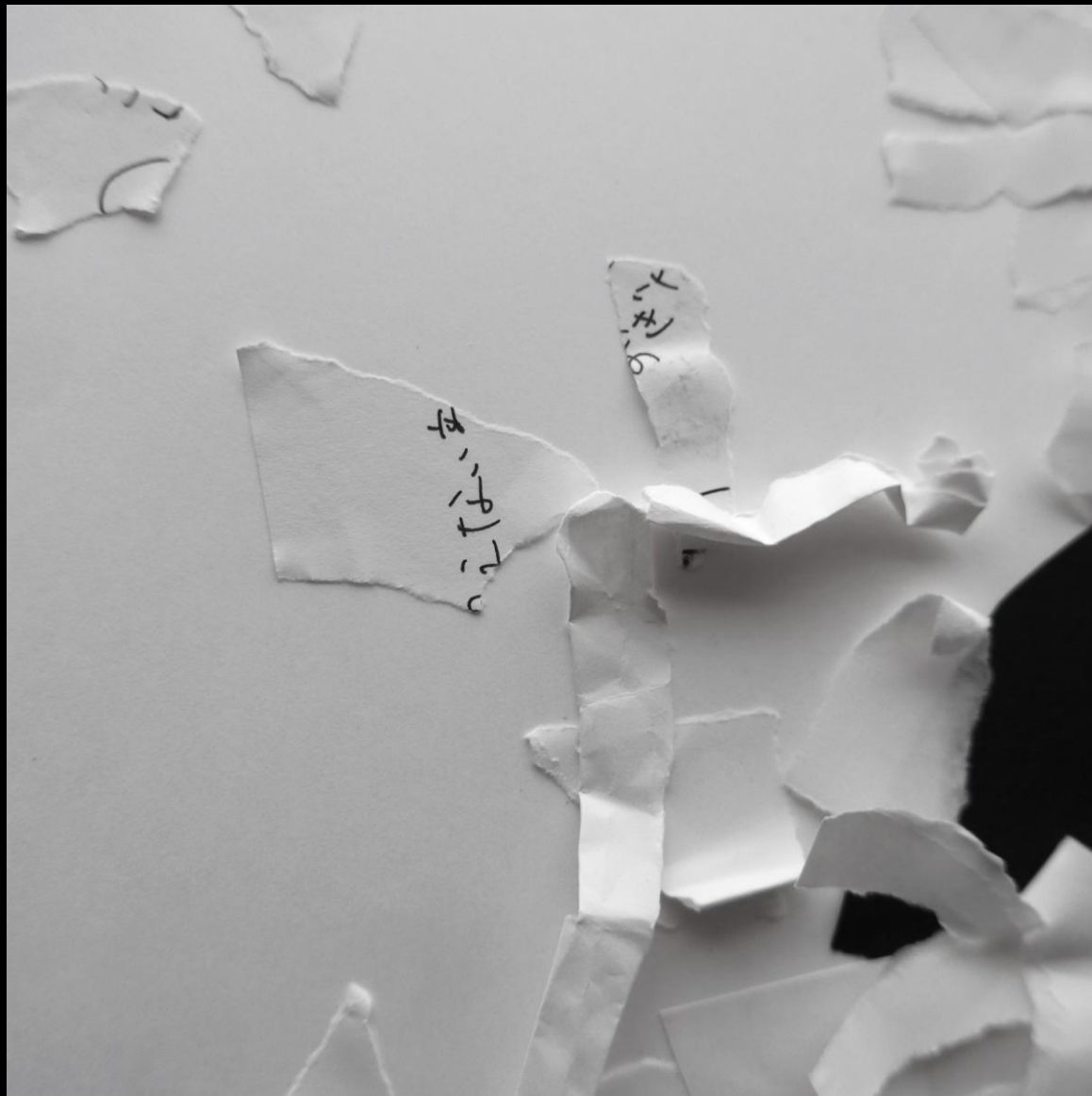
口は小さい
最近に少し不機嫌
なので、へ字。

見えない世界の目

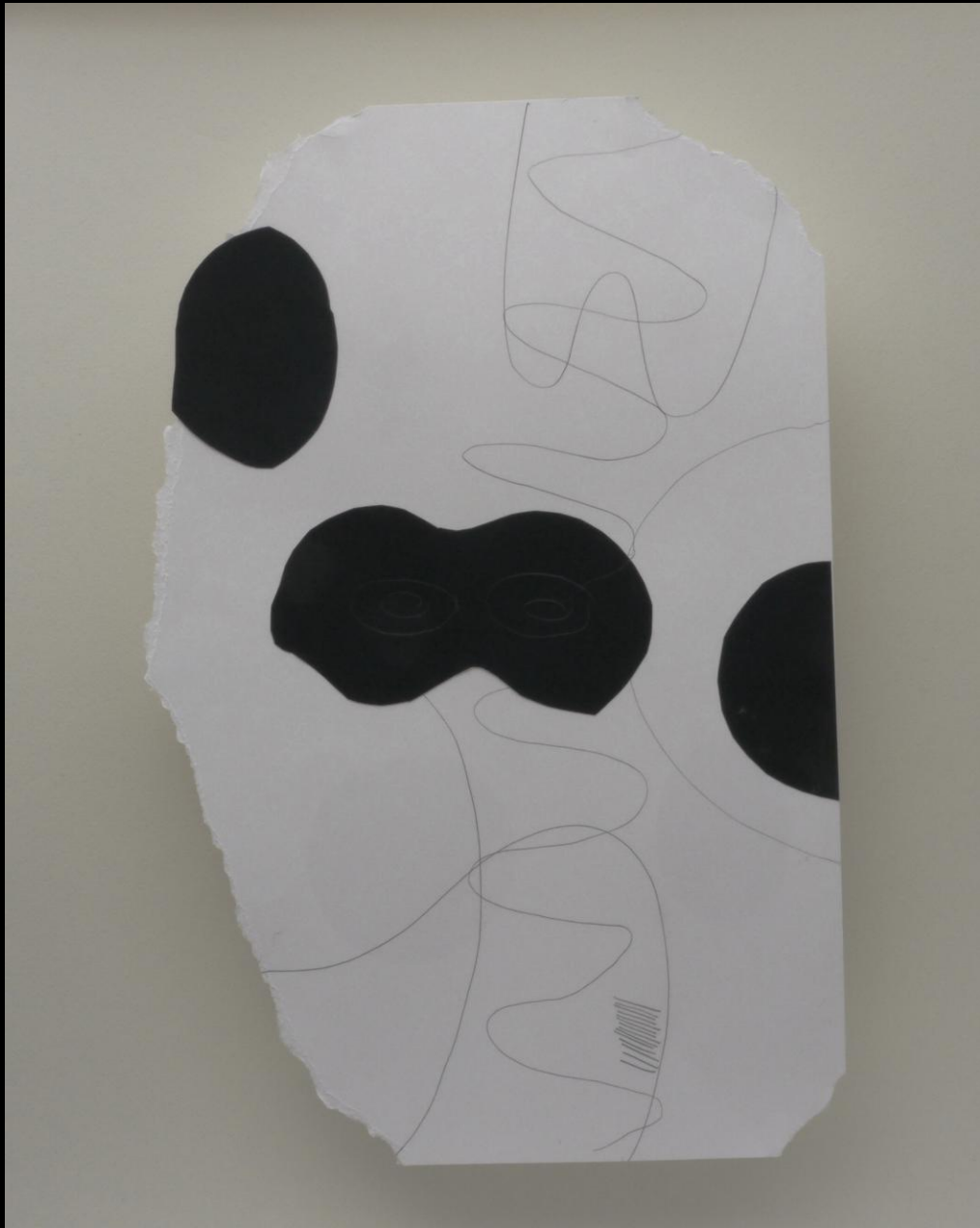


024





目とその周りを浮遊する世界の断片



041



目とじたまに見えろぐるぐる、これも軸、下のびりしやりしたもの。



自分の中心 ← これを囲う (この線は他の世界とつながろうとしているんだ)



ぼんやり



心臓の音

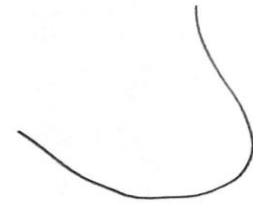


ゆびゆ



(右下)

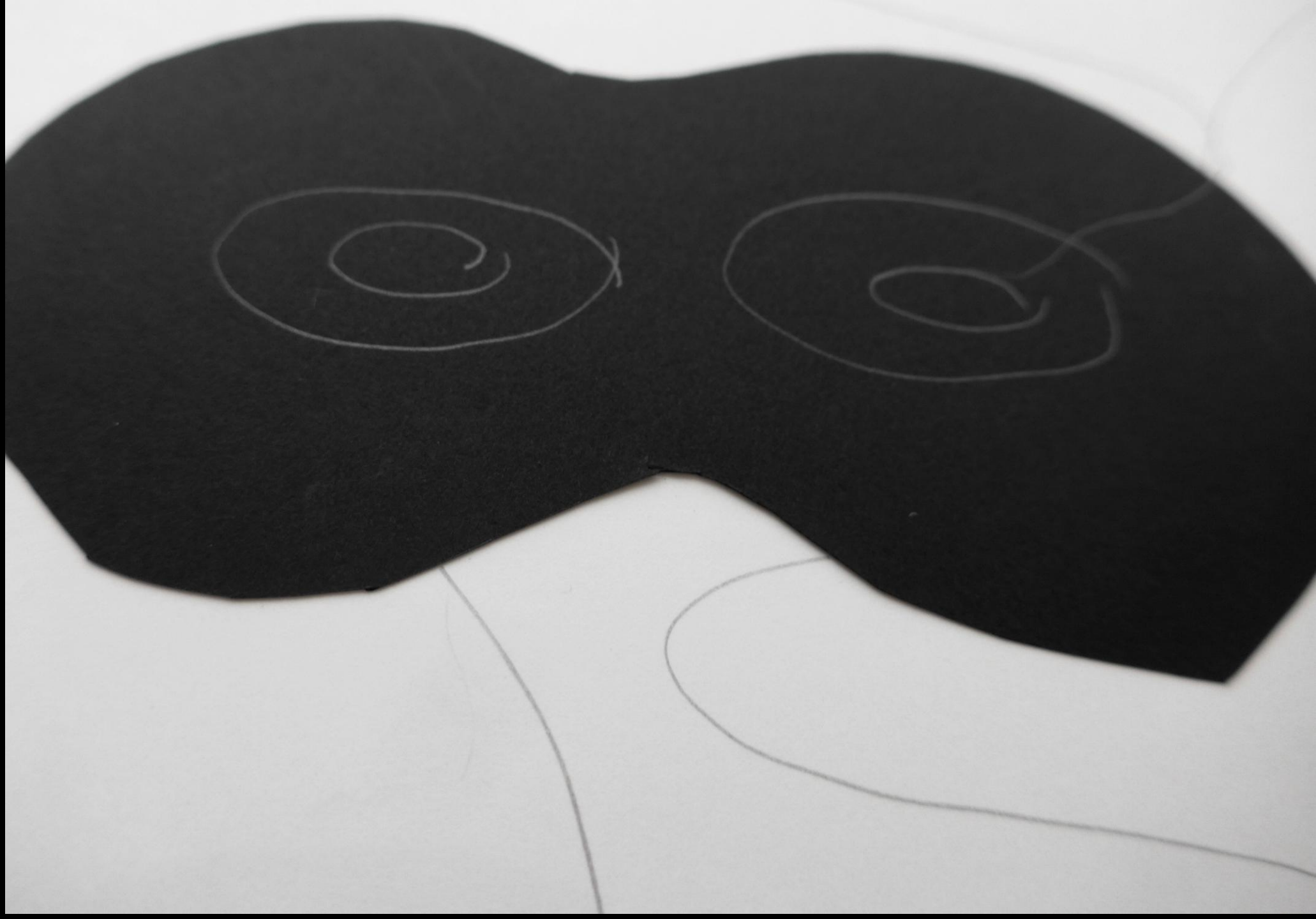
ち、ゆび



(左上)

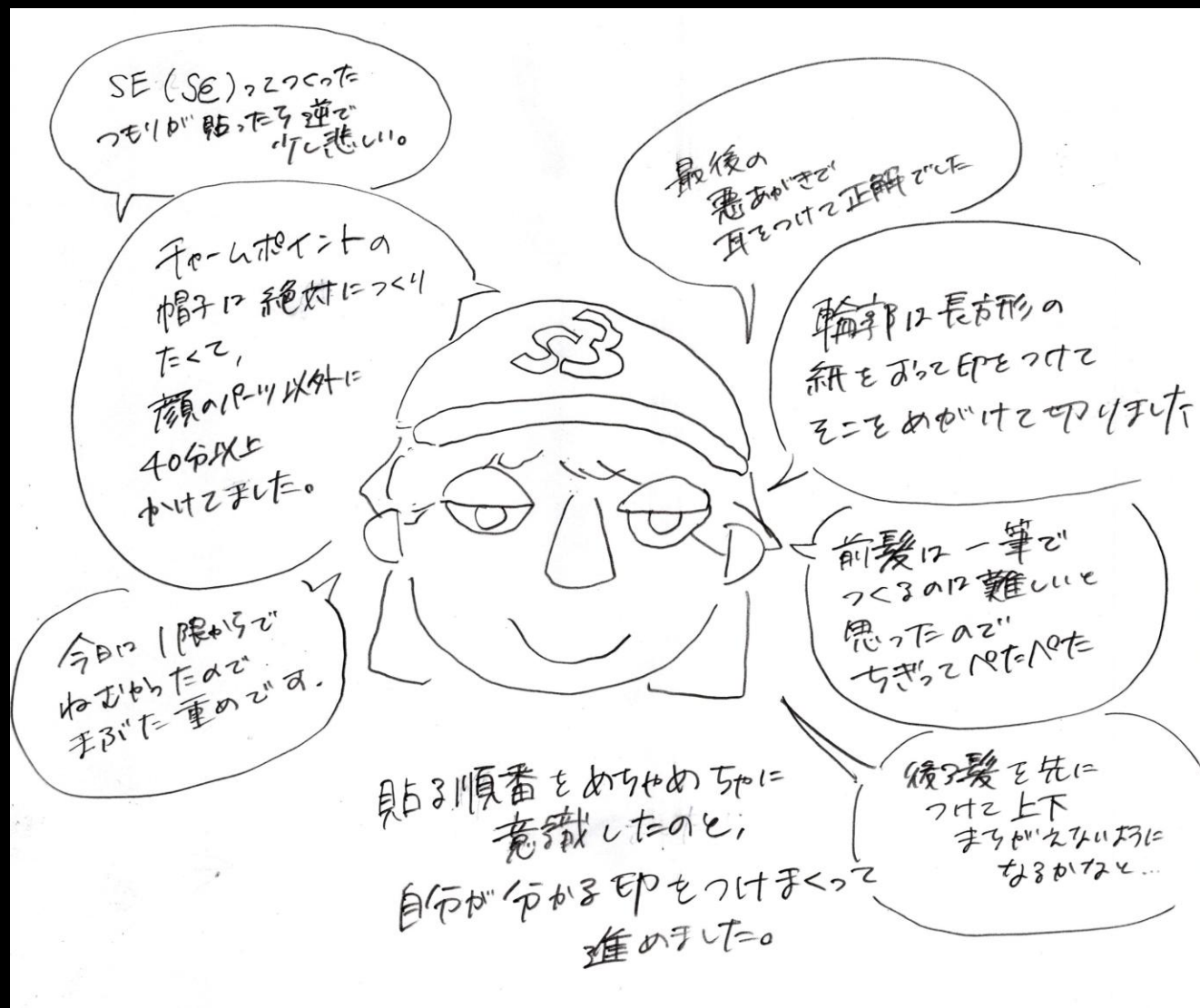
自分のため、曲線。

目をとじたときに
見えるぐるぐる

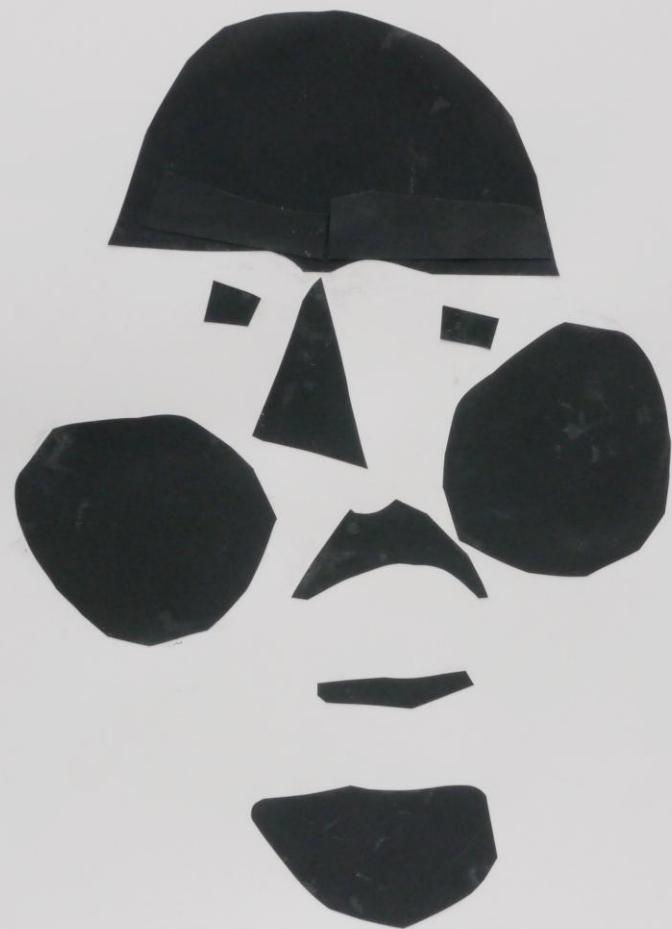




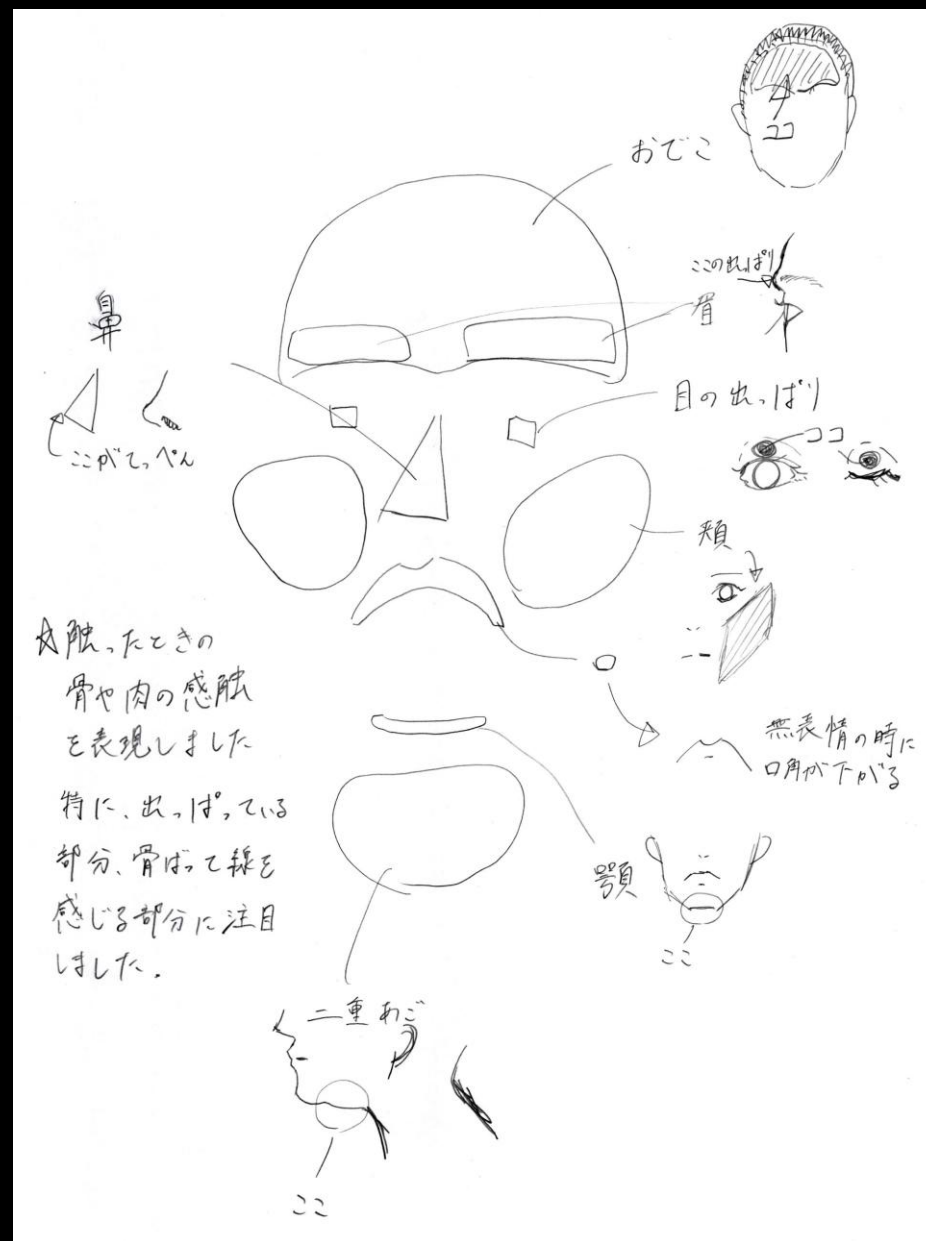
021



眠たい 帽子へのこだわり



029

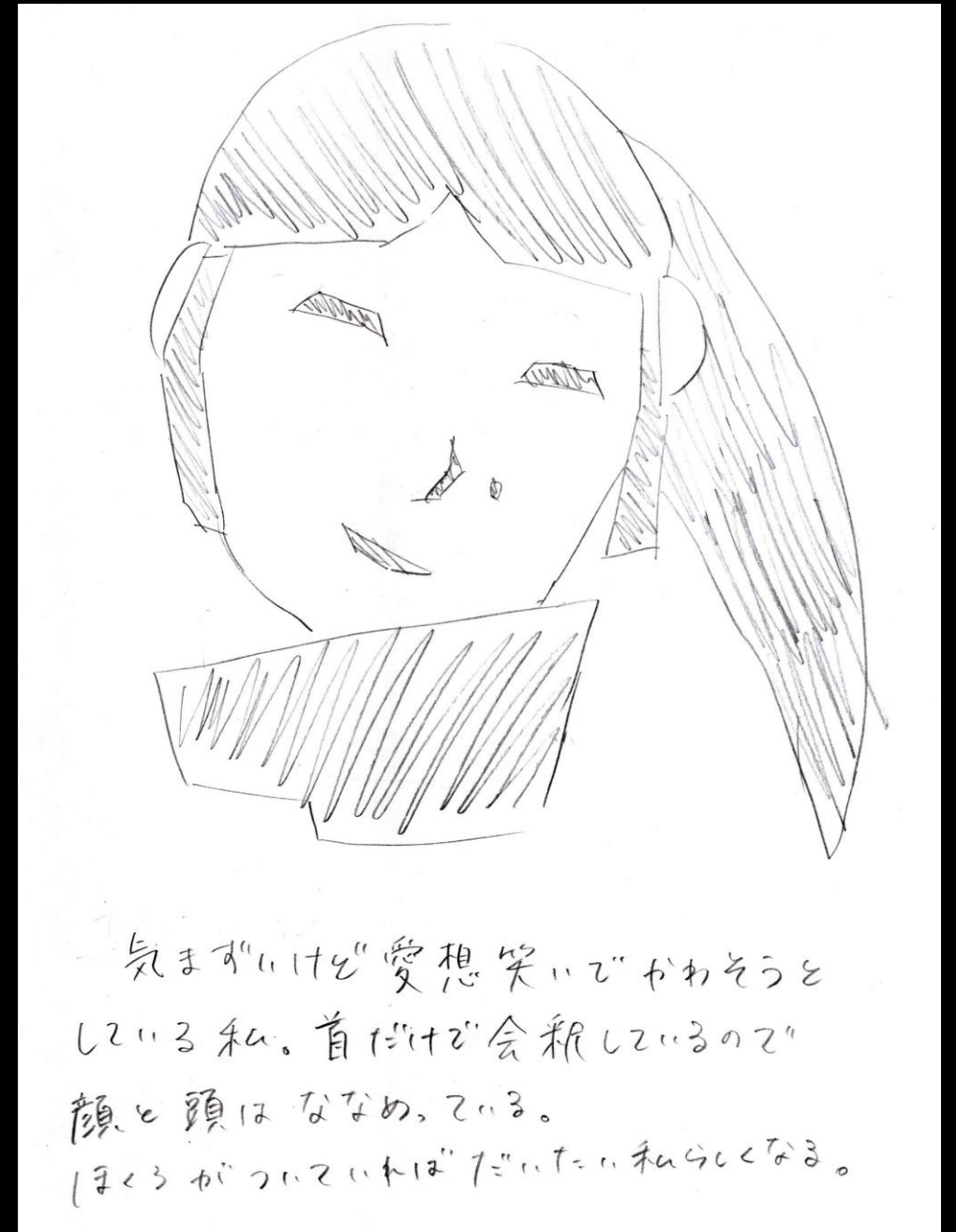


閉じた目の出っ張り

目が笑う



049



「気まずいけど」愛想笑いで「おわそうと
している私。首だけで会釈しているので
顔と頭はななめ、ている。
ほくろがついていけば「だいたいい私らしくなる。」

ほくろ 愛想笑い



014

目 笑ってるとき 乾燥した肌

触った時の自分の感覚のまま
紙を作品にしています。



手

触る手 触られる手

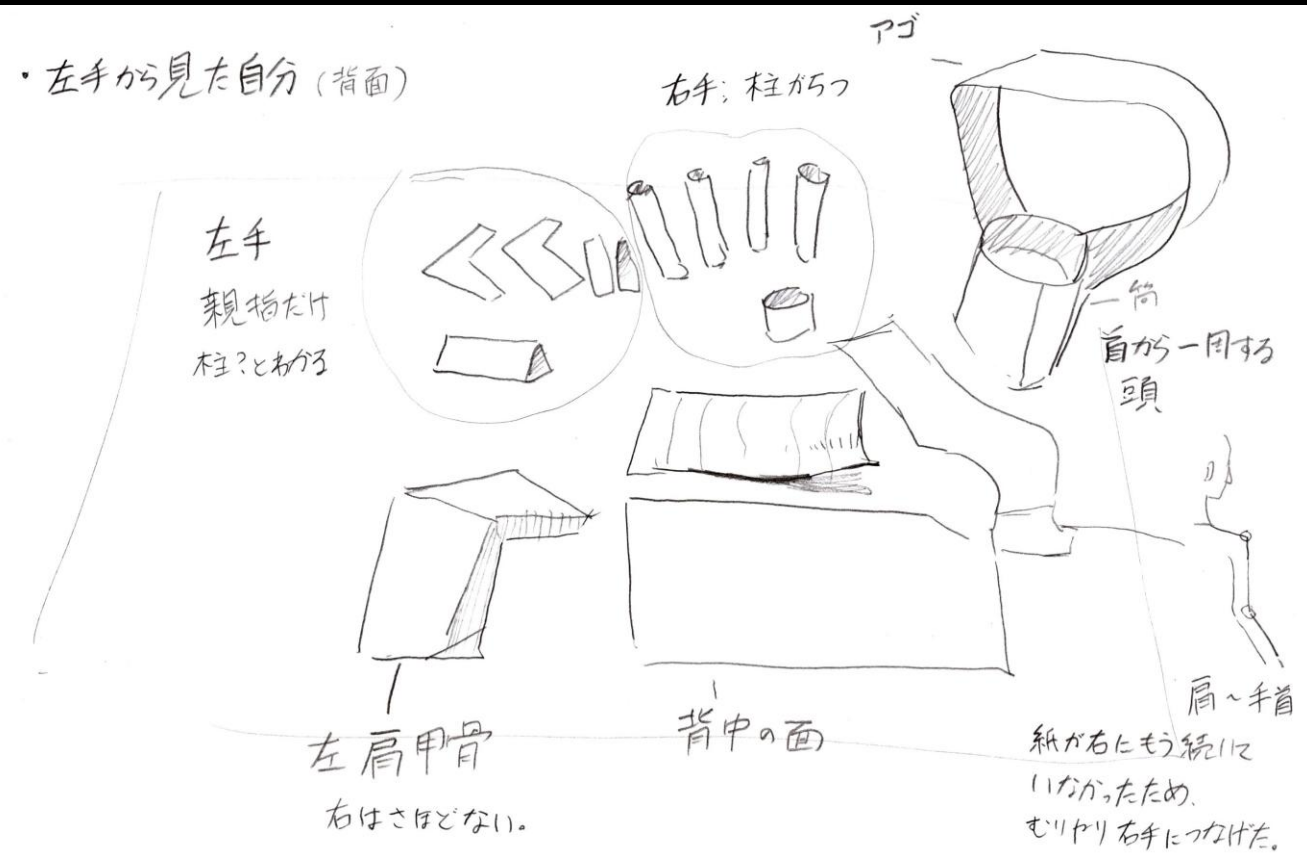
触覚は手の位置から見る

手の赴くままの作業

触る手 触られる手



004





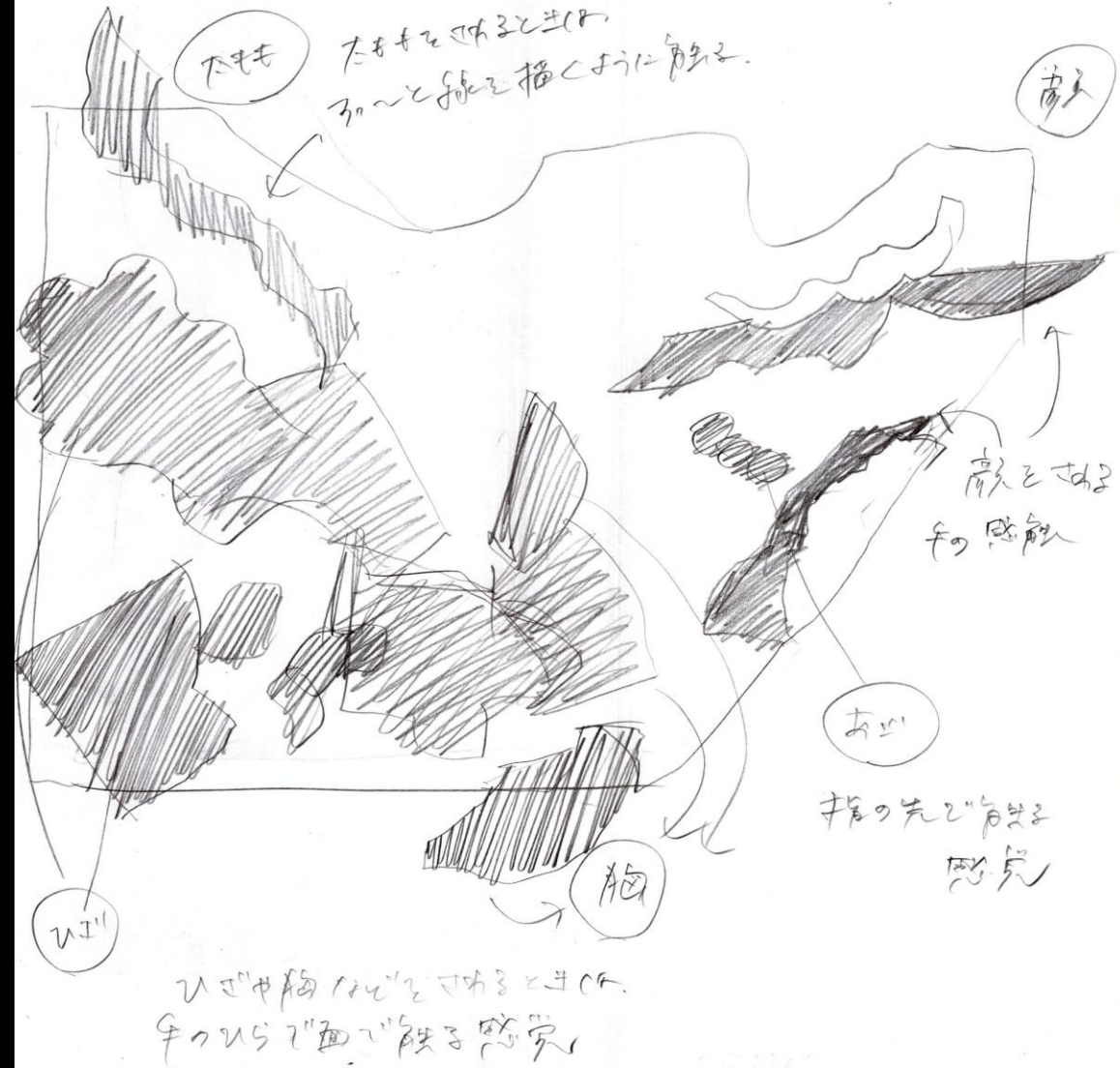
左手から見た自分（触覚的な視点）

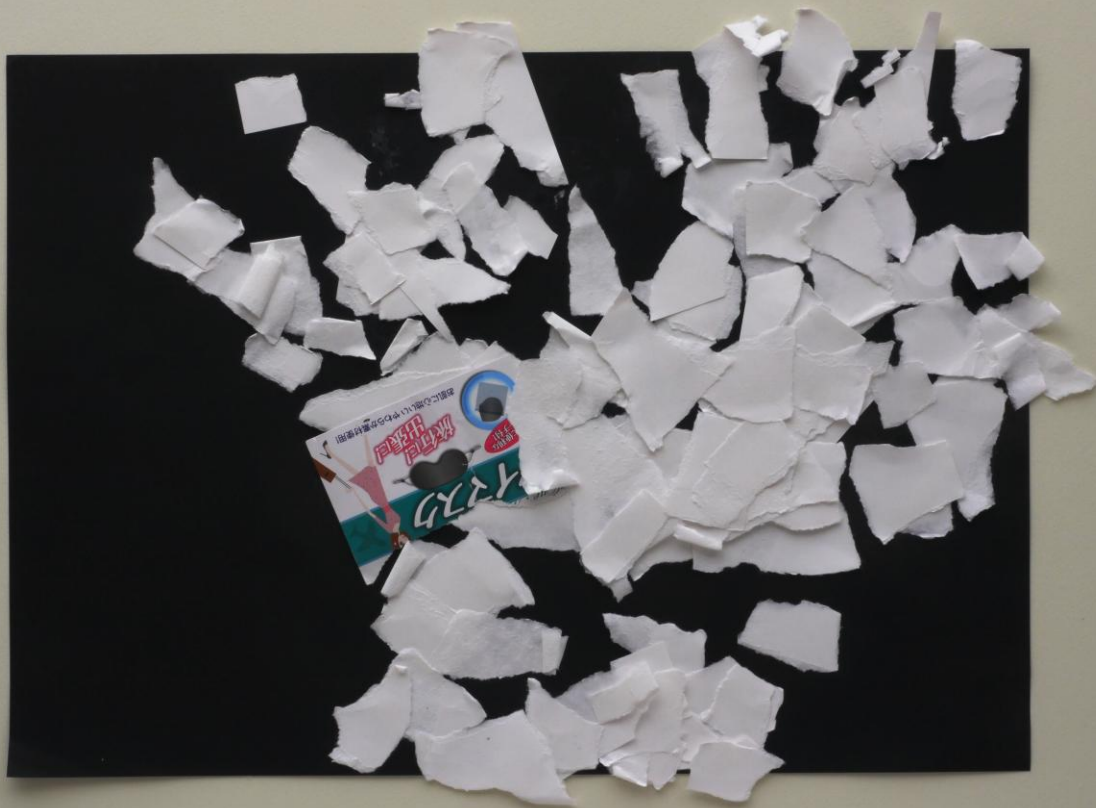


015

手を触る

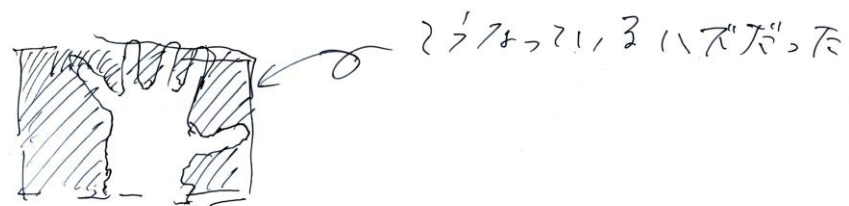
手は触るや体とさわる時、触るや体も手とさわる2つと
 今回の授業と受けた新けた気づきを得たので、触るや体
 が受けた手の感覚や部位による触り方の違いを表現
 しました。





043

最初に触ってしまった「自分の手」だと思えたので、自分の手を握ろうと
 しました。
 手って「触って握る」って難しいもので、手探りで握るのは無謀だ-と
 かえりみない。
 アイマス7のパッケージを見て、こころ/170ニ=7”



最初に触ってしまうのって「自分の手」

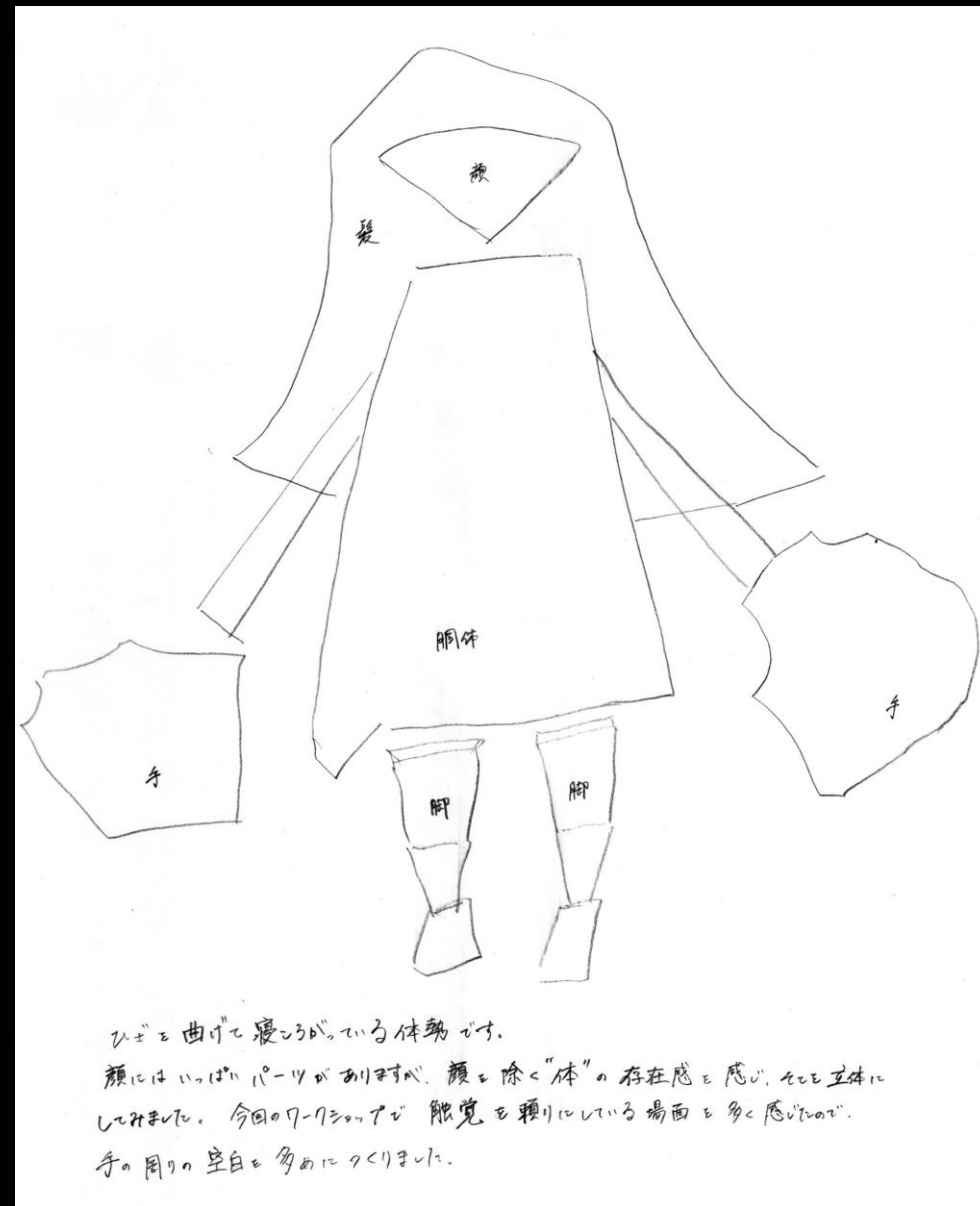


混入ハプニング



020

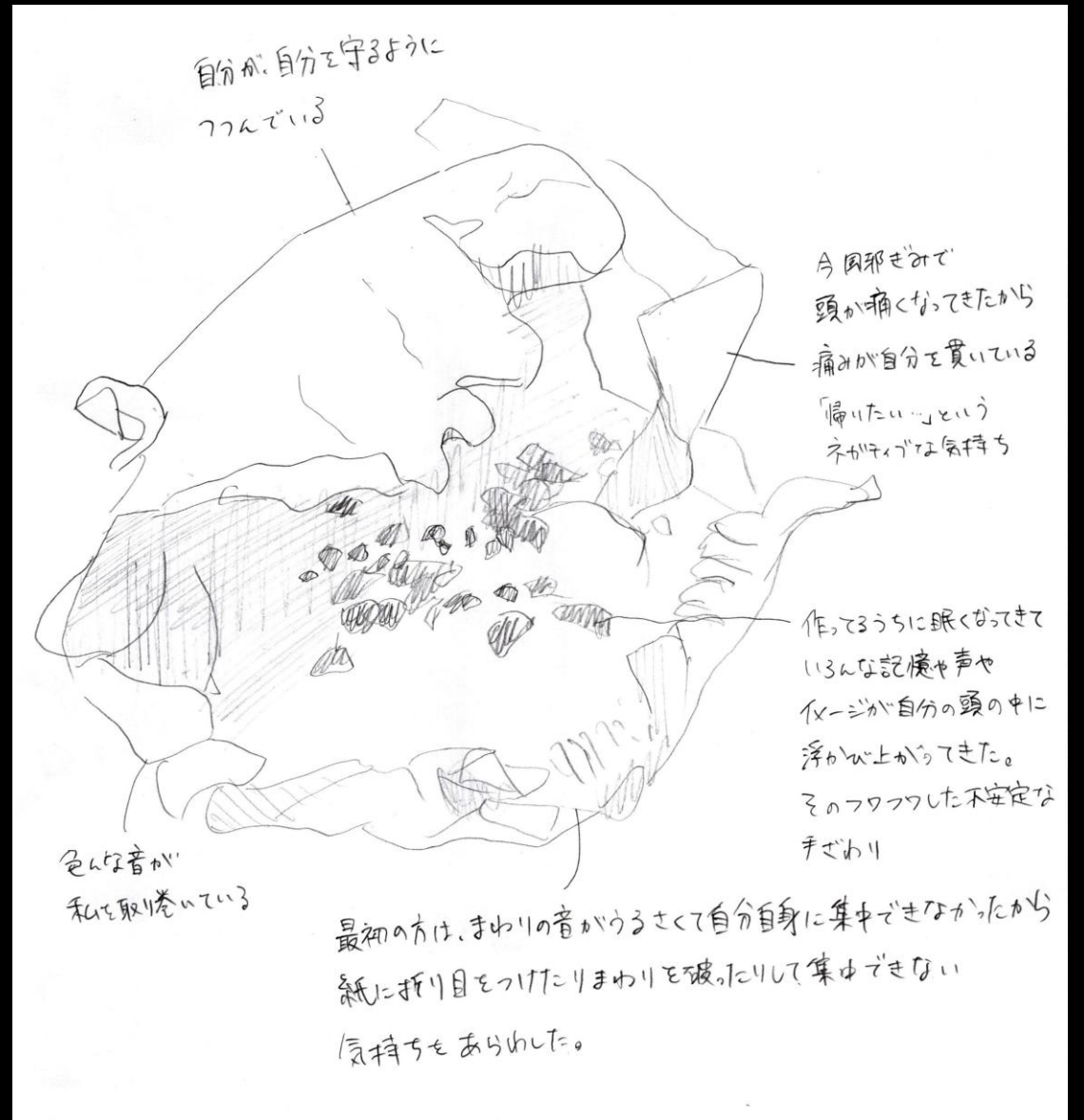
手の周りの空白



手の赴くまま



012



012-k1

今風邪ぎみで

頭が痛くなってきたから

痛みが自分を貫いている

「帰りたい」というネガティブな気持ち

作ってるうちに眠くなってきた

いろんな記憶や声やイメージが自分の頭の中に浮かび上がってきた。

そのフワフワした不安定な手ざわり。

最初の方は、まわりの音がうるさくて自分自身に集中できなかったから、

紙に折り目をつけたたりまわりを破ったりして集中できない気持ちをあらわした。





目を閉じた状態で、スライワのりを使うことが出来なくて、
 だ。たら折。てなんとかするしかないと思。て、立体で制作しました。
 色々と折。て組み合わせているうちに段々楽しくな。てしま。い、
 そのまま手癖でや。てみた。いなという形を作。て。いた。ので、
 作品の意味やコンセプトの解説は上手く出来ません。
 触。た。と。き。の。立。体。感。や。質。感。を。意。識。し。な。が。う。制。作。し。ま。し。た。





色々と折って組み合わせているうちに段々楽しくなってしまう、そのまま手癖でやってみたい
なという形を作っていたので、作品の意味やコンセプトの解説は上手く出来ません。



平面の2枚（白と黒）の紙を
全部 つなげた状態で合体させたのだ。

私の自我は結構、くせものだと感じる。
そのため、立体的に2枚を組み合わせるように
立体的にさせたのだ。

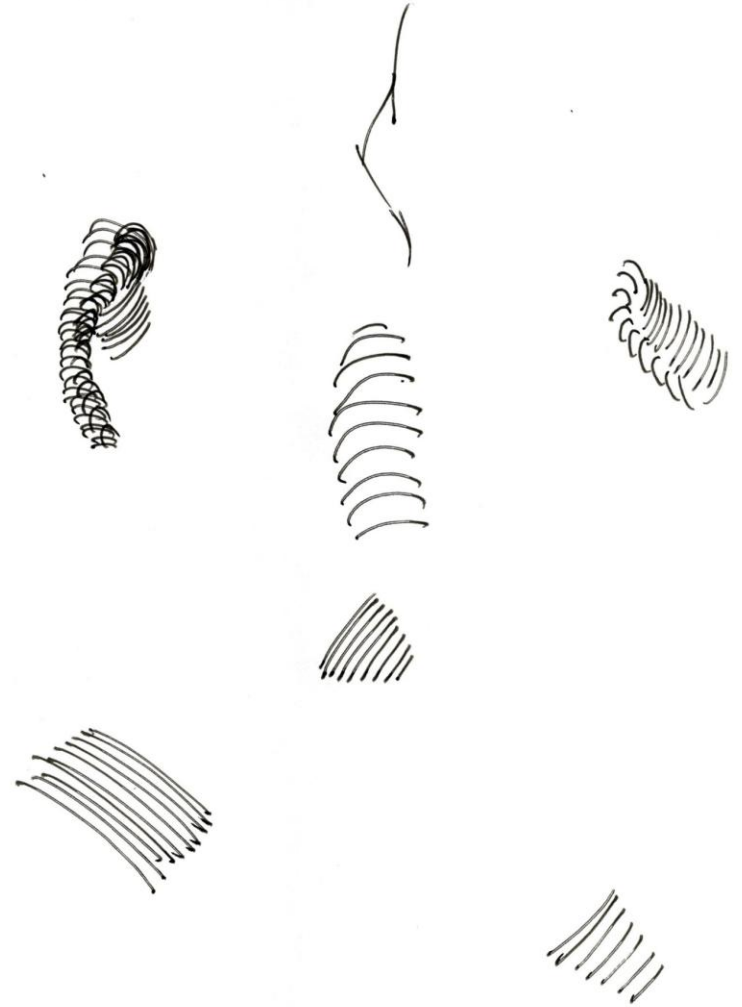
目が見えない状態で、できるものが
自分の内面を、一番引き出すことができるのでは
ないかと考え、自由に手を動かしてみた。

思っているより形では全然なりの
自分の一面を知ることができたのだ
面白かった。

目が見えない状態で、できるものが自分の内面
を、一番引き出すことができるのではないかと
考え、自由に手を動かしてみた

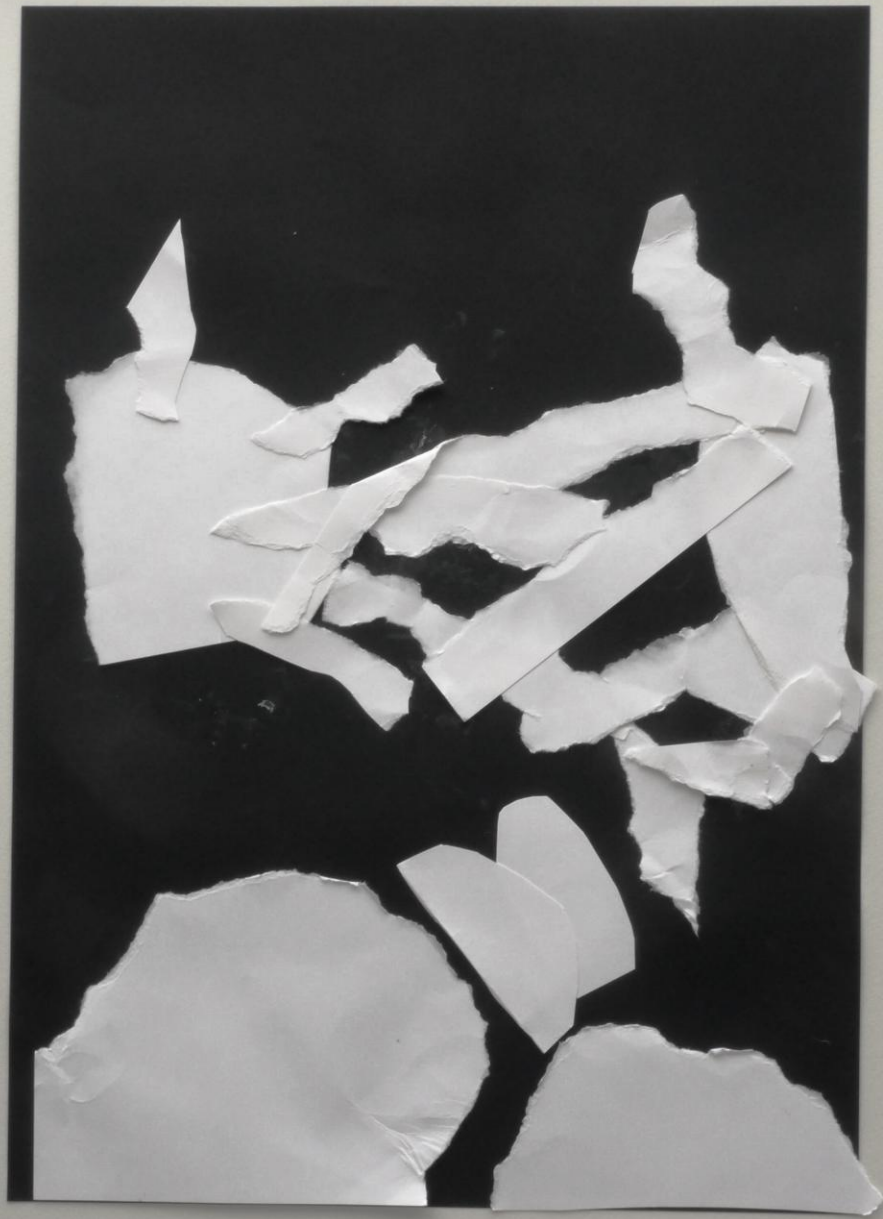


それまでの自分の顔の部分の輪郭や線を意識しながら半立体の顔を用いて行った。特に何を見ずさめて感じられる物を作っていた。でも限りなく表をやっていった。

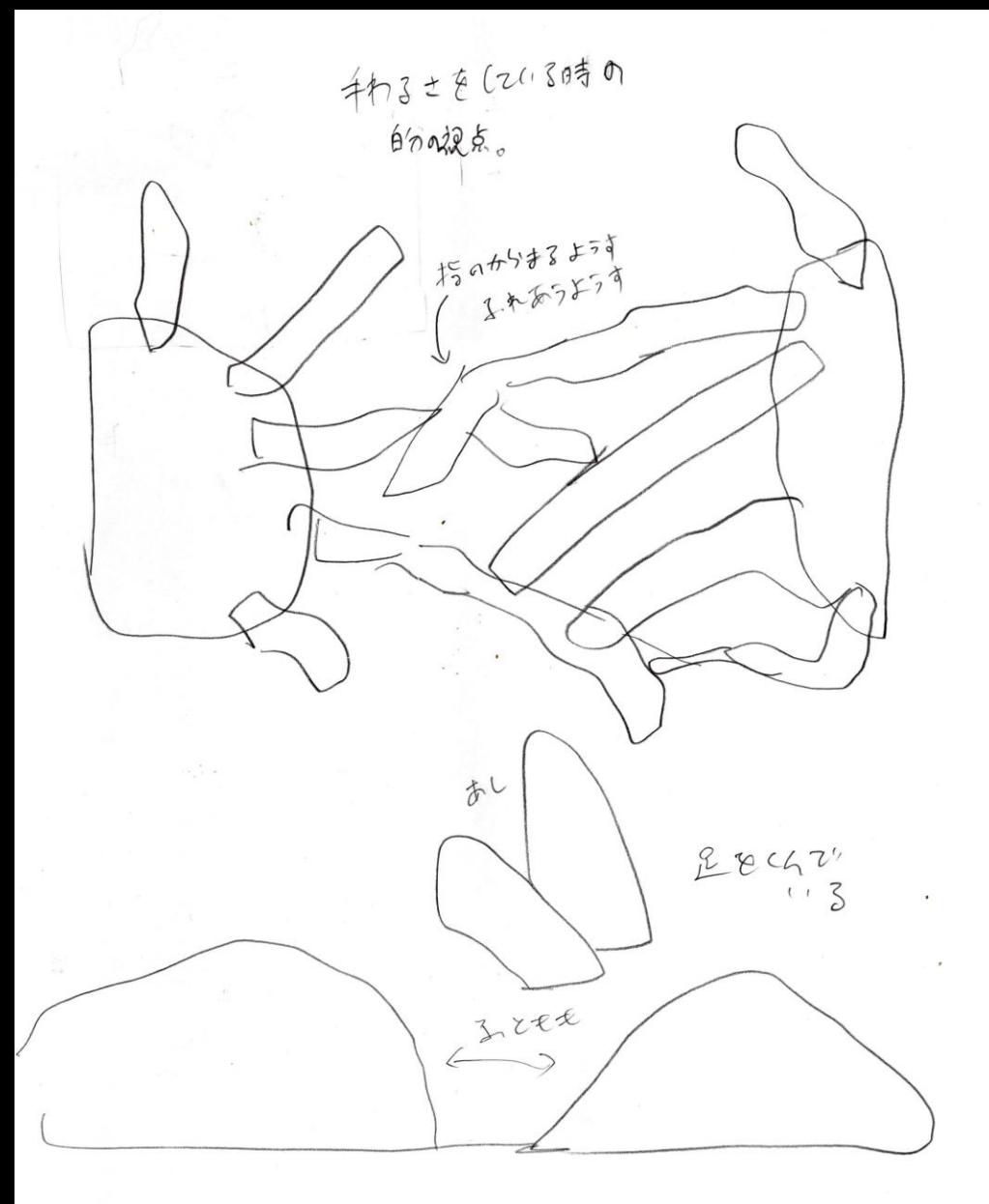




特に何を見ずさわって感じ
られる物を作っていた。
できる限り何も考えずやっ
ていこうとした



039



手わるさをしている時の自分の視点

触覚

柔らかさ

骨 硬さ

毛髪

触覚的イメージ

柔らかさ



平面部分はセンサーが働かず、
時々自分がポーンとしてしまうところ
（表している。）



フフフは自分の色んな
毛、コトを感じるセンサーを
表している。

全体的にフフフな手触りにして
手で触って楽しめるようにした。



フワフワは自分の色んな
モノ・コトを感じるセン
サーを表している



028

三つ編み ちぎり絵

身につけていたアイマス7

全体的に丸く、下側が

へこんだ形をしていた

髪かざり

服の襟
(シャツ)

服(ニット)

三つ編み

・指で触ってみてわかるような形や質感を表現した。

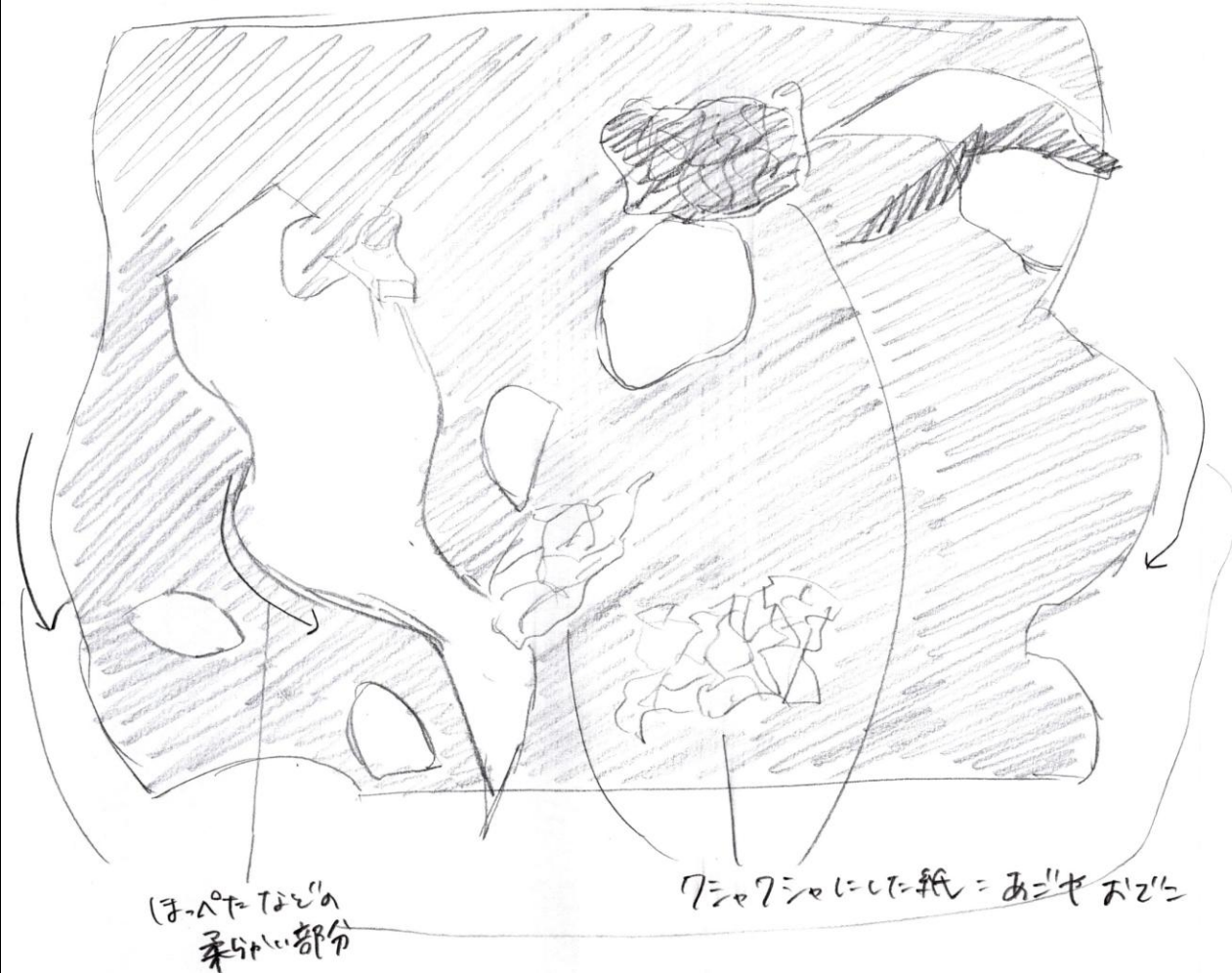
・表面が柔かいものは黒い用紙をちぎちぎって表現

固い工業製品のようなものははさみで切って表現した。



032

紙をクシャクシャにして貼りつけて表現しました

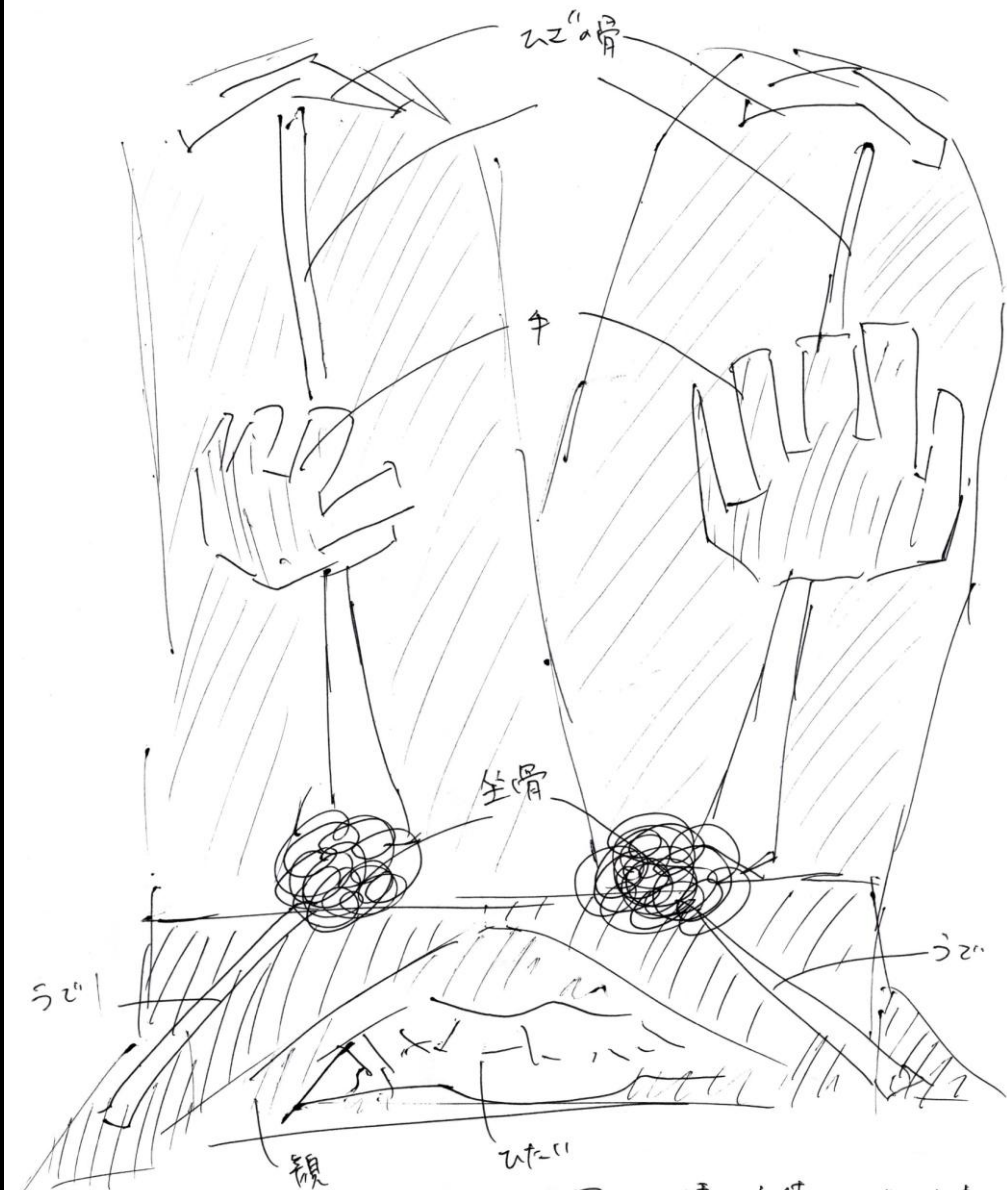


顔の見た目を再現するというよりは、触れたときの感触に注目して作りました。

あまり骨を感じなかったので、曲線を中心に構成しようと考えました。とは言っても確かに硬い部分はあるので、そこは紙をワシャワシャにして貼りつけて表現しました。



骨 固 め



自分の姿を上から見た構図で、硬く立体どうき出た
線になているところは自分の骨を感じることによって感覚の
強弱を表現している。手前の三枚は顔だが、目や口は入らずに
残りの部分とそうでない部分が顕著に表れている。

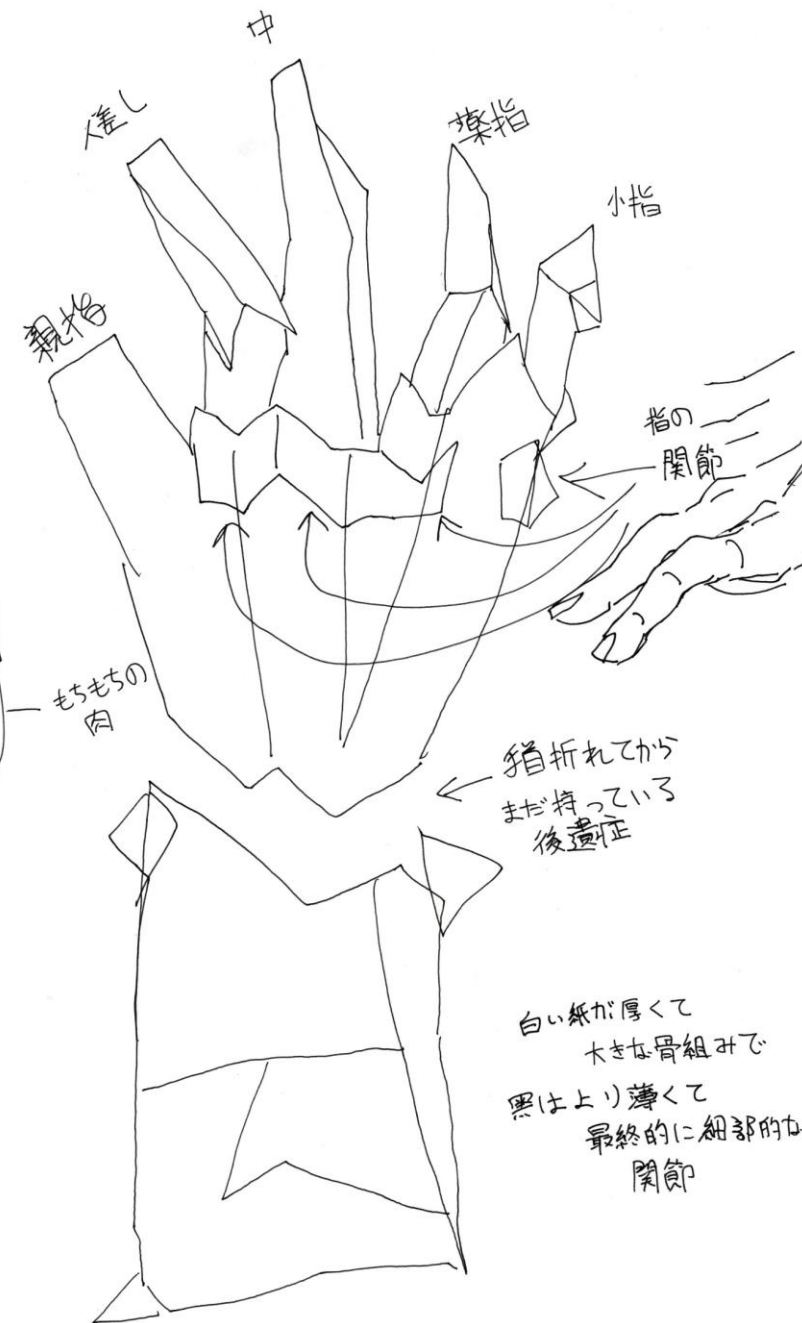
自分の姿を上から見た構図で、硬く立体でうき出た線になっているところは、自分の骨がを感じることで伝わる感覚の強さを表現している。手前の三角は顔だが、目かくししているからこそ感じる部分とそうでない部分が顕著に表している

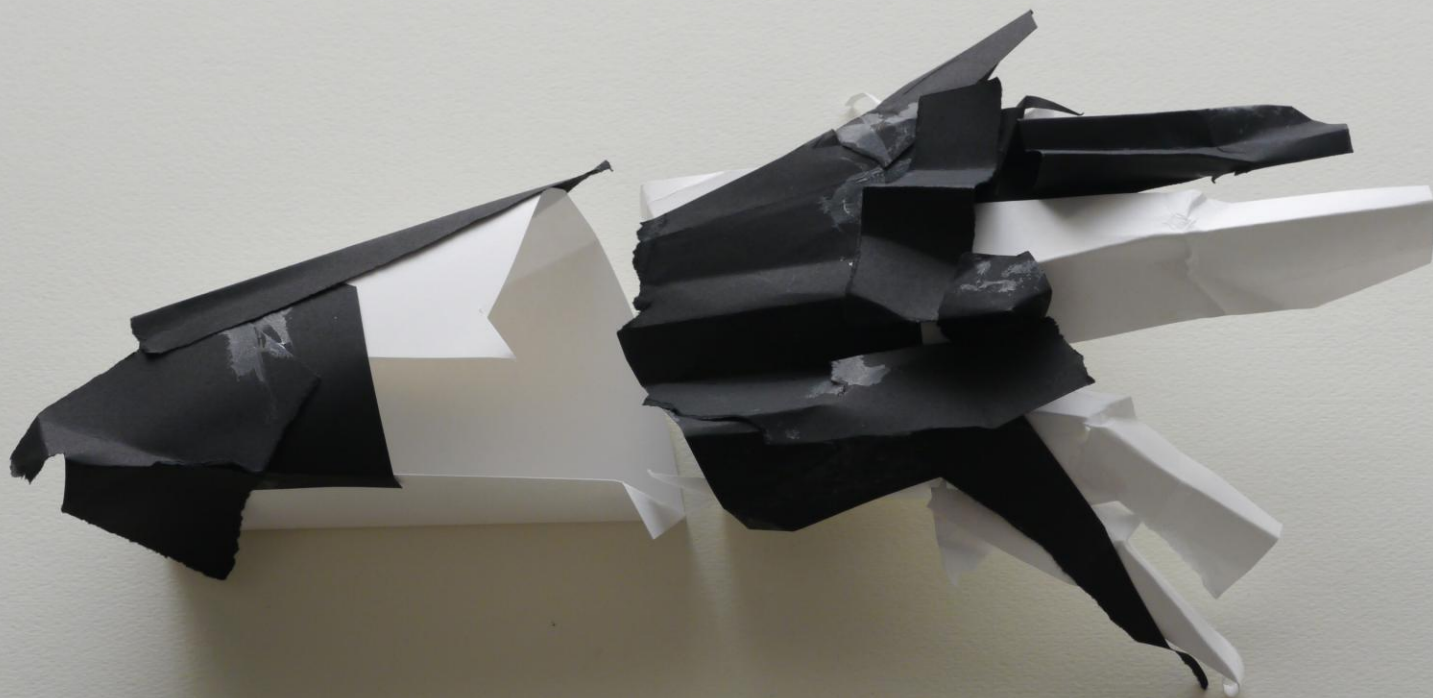




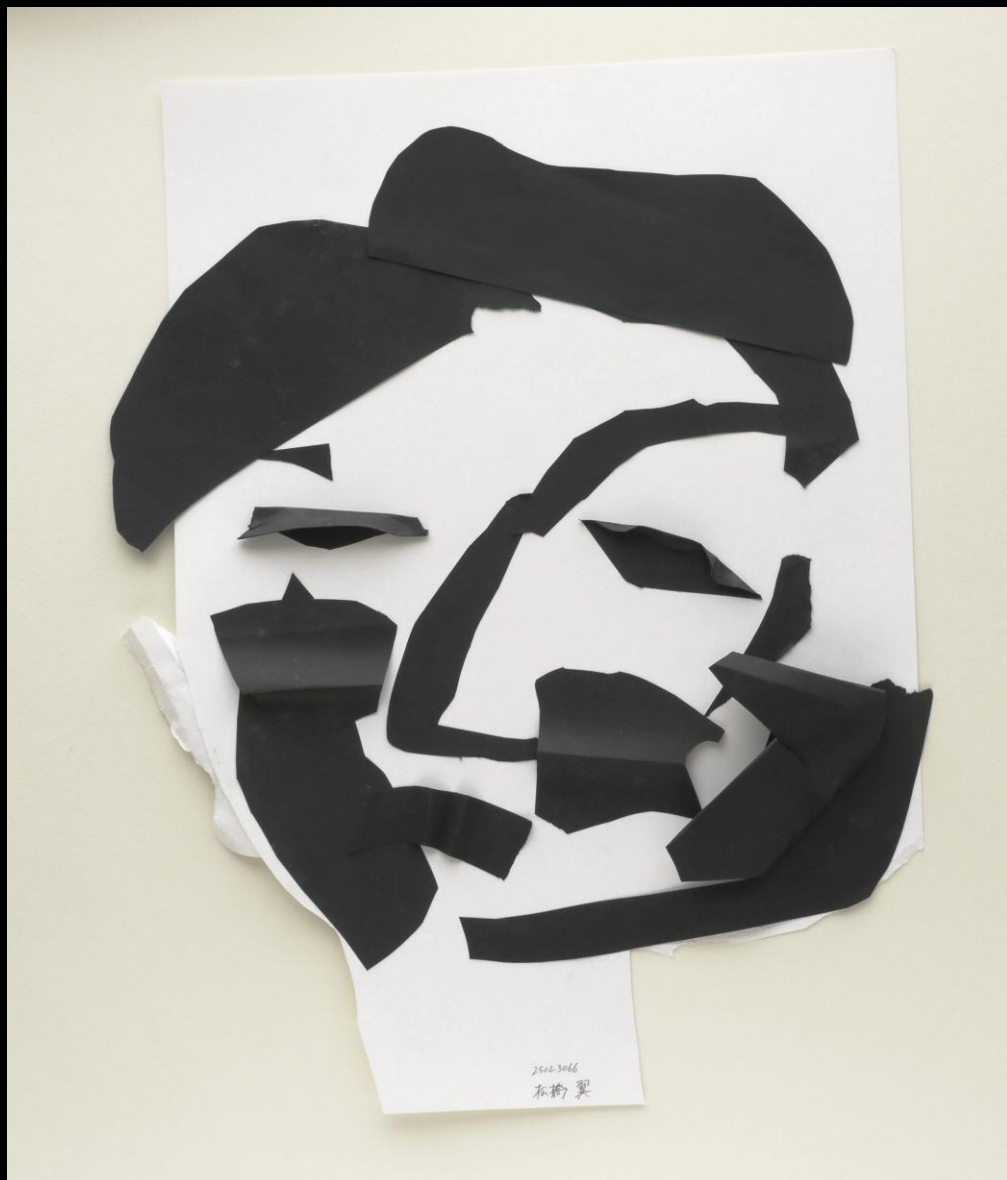
002

関節好き

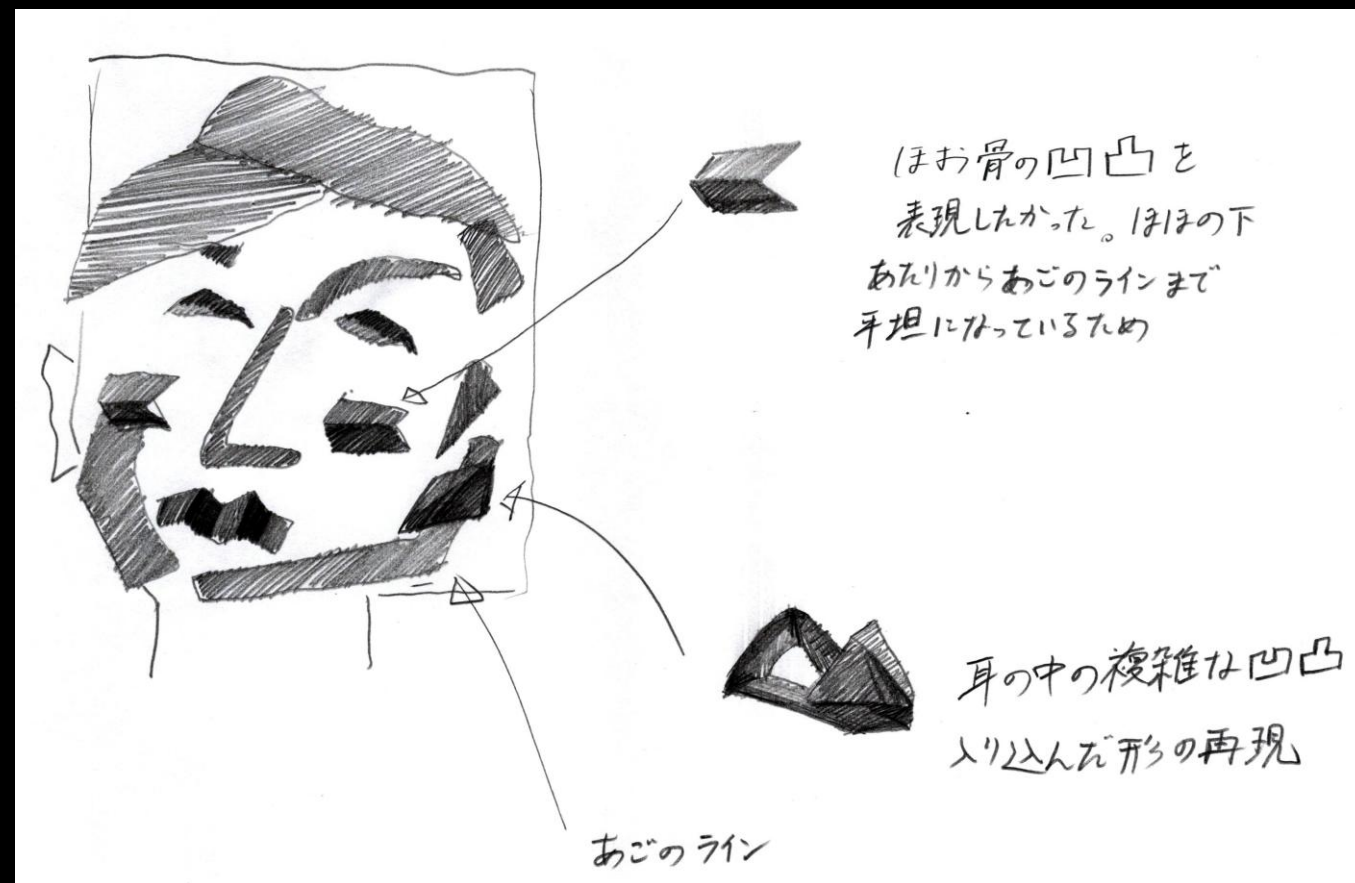




手首折れてからまだ持っている
後遺症



019



ほお骨の凹凸

ピアス



022

友人が私をイメージして作ったピアスなので
自分を構成する重要な要素

鼻の口は硬く、
小鼻はやわらかく、
然して顔に
作って

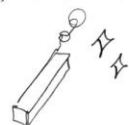
最近自分の顔について
色々考えた。あった。
右手で自分の顔をエッチに
セックスをエッチに
クセがあるの、右側だけ
作って。今は内面より
外面に自分自身を置く
ことが多い。シンプルに
顔そのものを作ってみたい。

顔をパタパタエッチながら
作って、100%の顔に
組み立てることにした。
鼻→口→あご→目→
の順に、エッチをしながら
作った。

あごがシッカリ
しているの嬉しい

顔の顔の
具体的に

お気に入りのピアス。
友人が私をイメージして
作ったピアスなので
自分と構成する
重要な要素!!!





054



顔がただただ、
顔面の皮の感覚が鋭いので、表面に
感じるものがピタしない...という顔

全体的にツルツルとした外見なので、
触ると骨の存在がわかる



表面に感じるものが
ピアスしかない...

髪 まつげ



自分の感覚を形にすると時に、髪のかくさくや、耳の曲線が
印象的だったので、それと形にすると横顔をもつて形を作り出す。
全体的に角ばった形に丸みをつけて、やからみと表現して。
下の部分の切り絵は、穴を開けた。顔の下の方がさうつと感したから。





髪の毛のくるくる

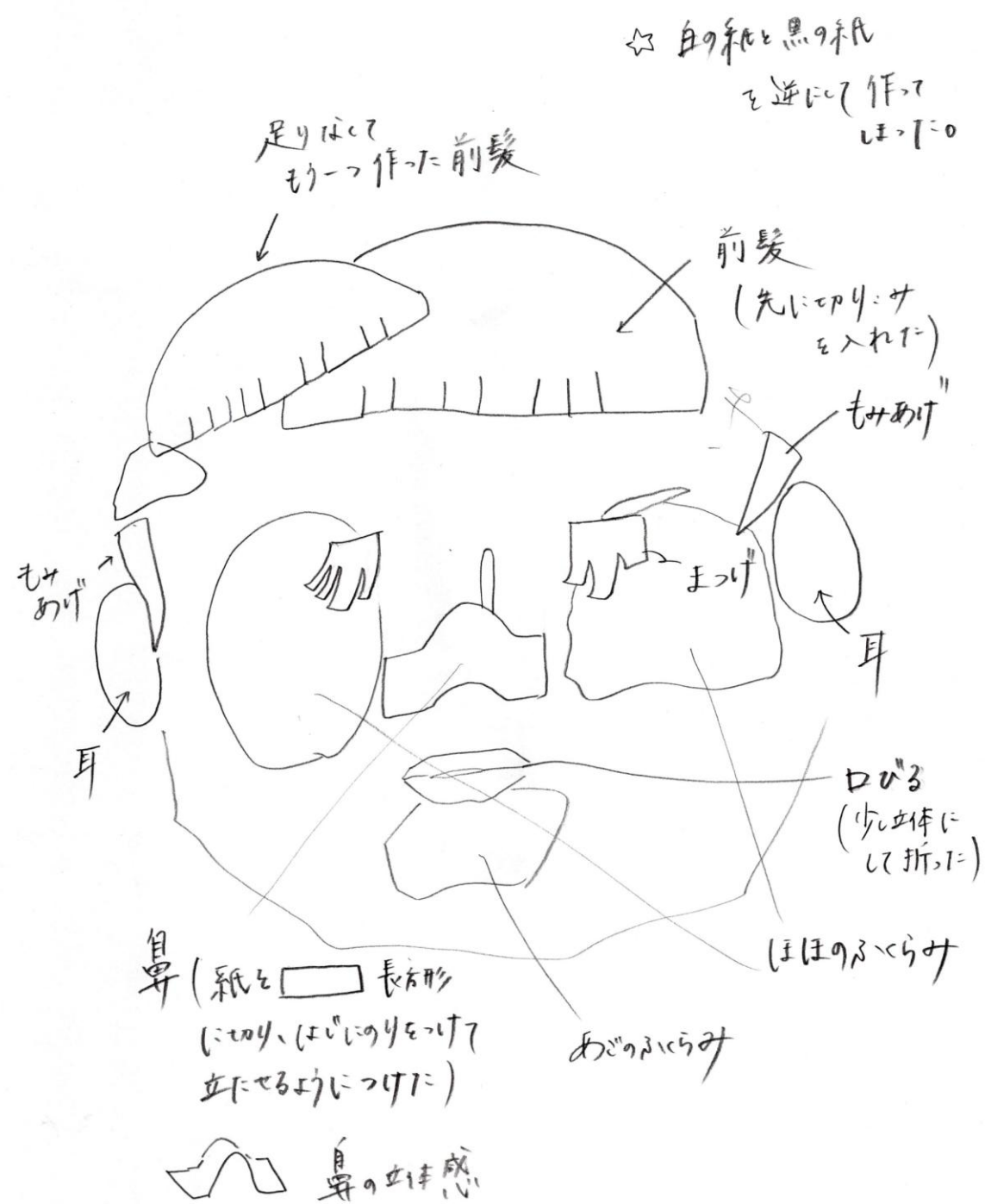
顔の下の方のザラつき





016

まつげ

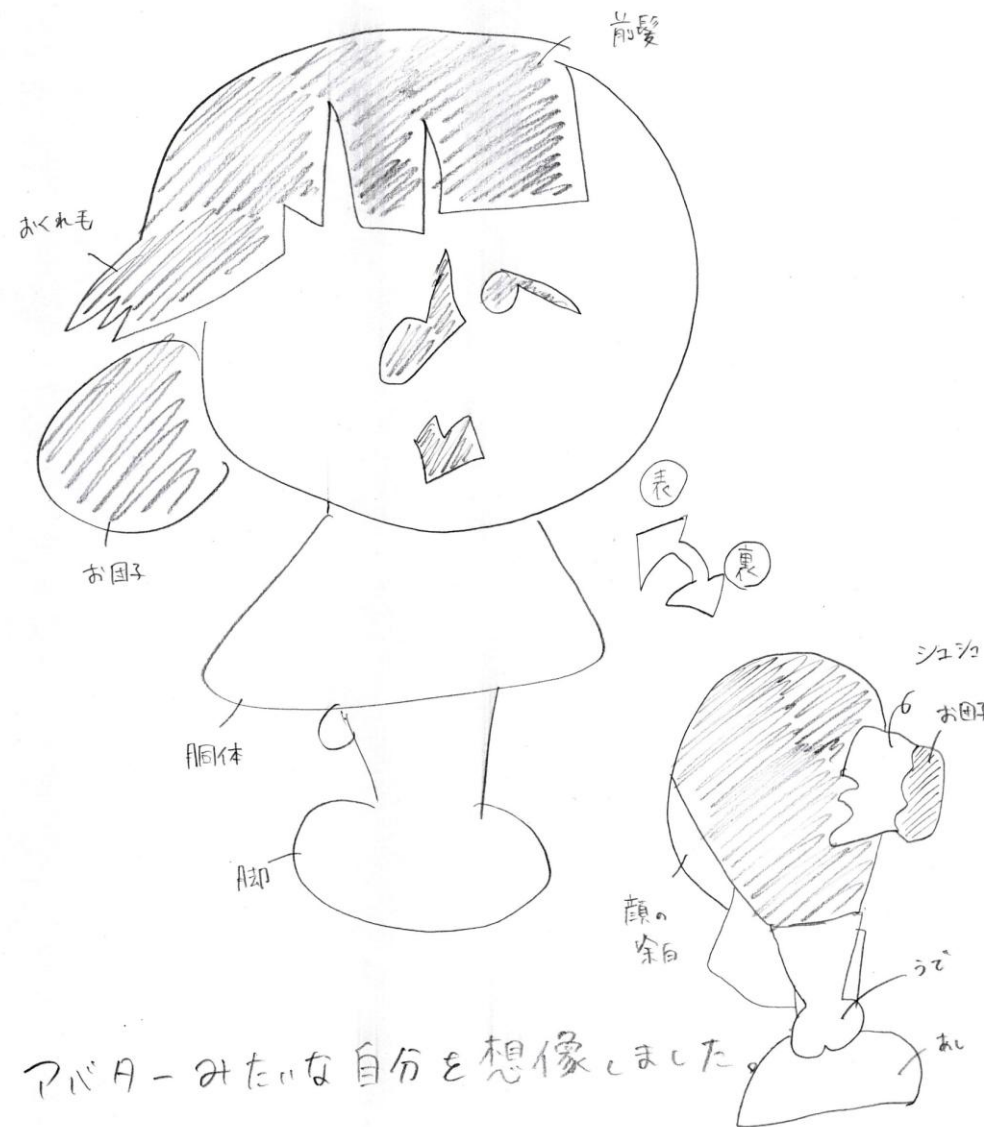




37番 沢本 結

037

アバターみたいな自分 おくれ毛



アバターみたいな自分を想像しました。

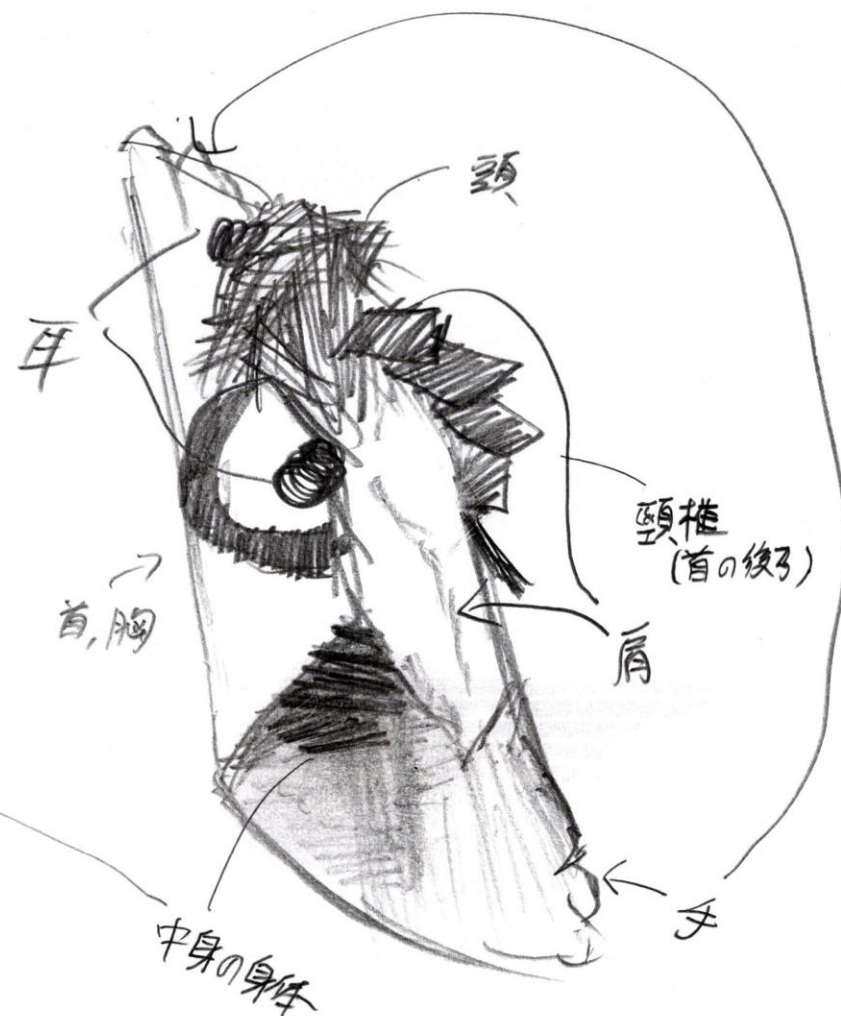
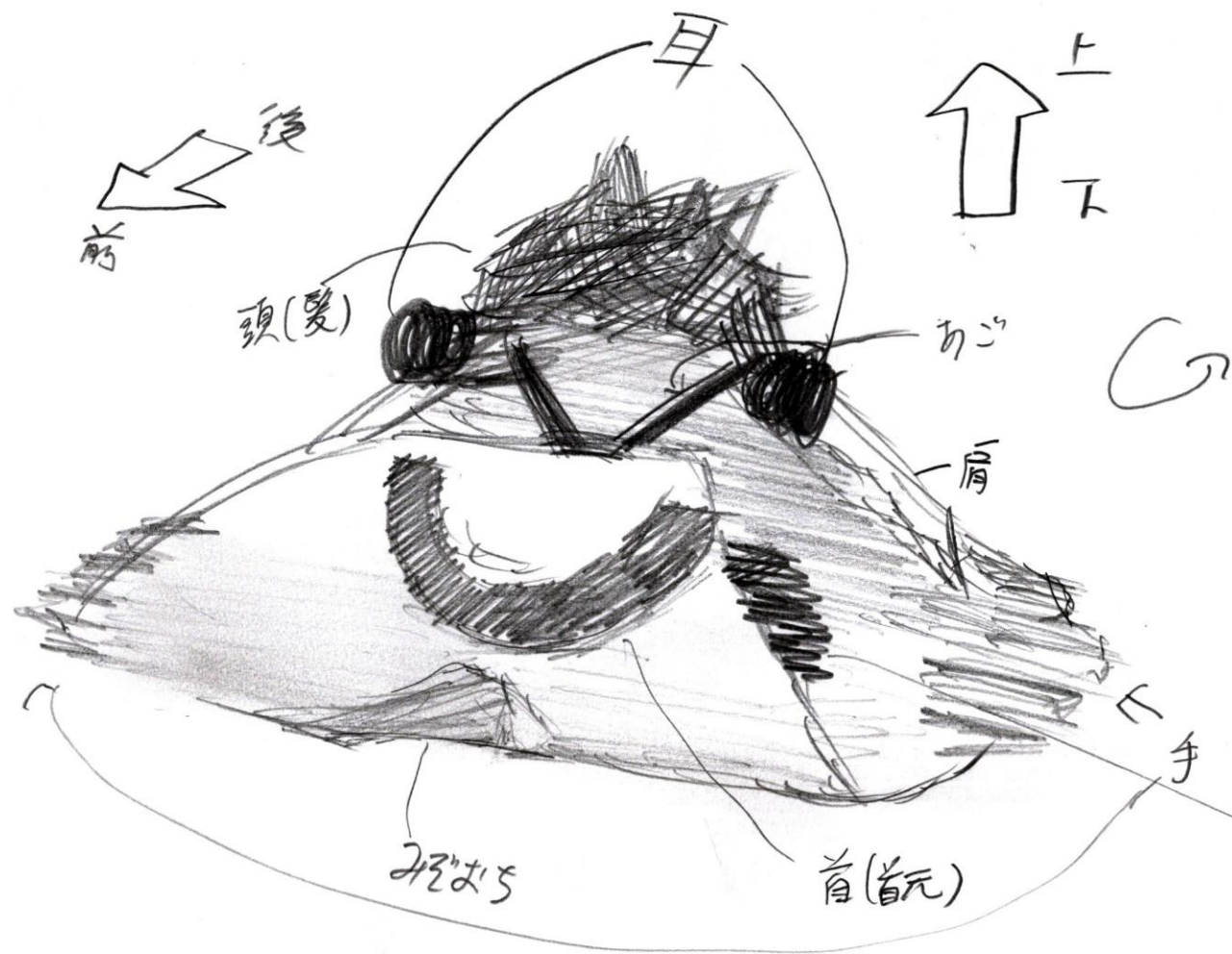
顔のパーツで印象に残りやすそうなものを

ピックアップしました。

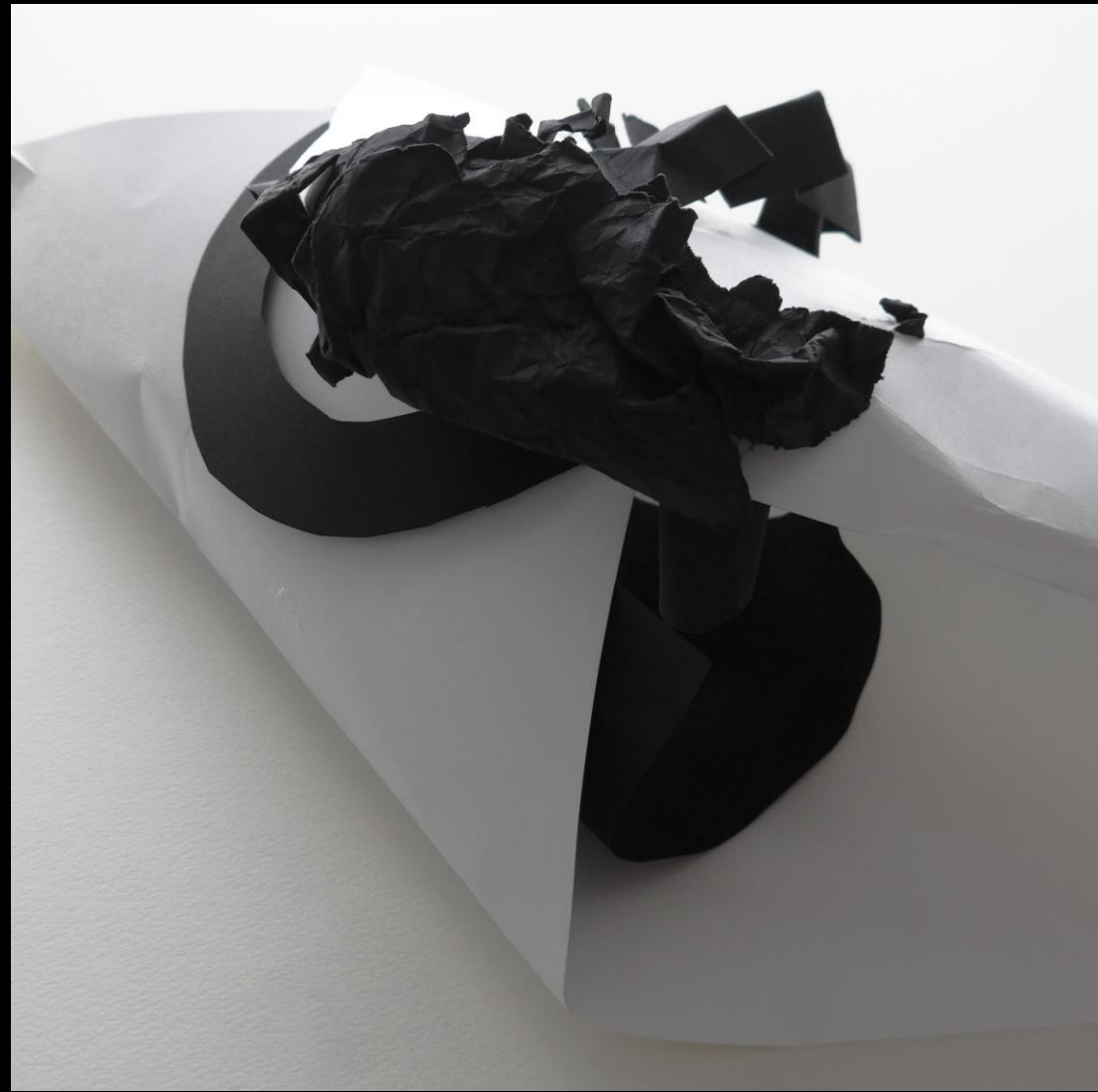
角度の調節が難しく、逆に全体で見た時の形をとらえるのは思ったよりも簡単と感じました。

触覚イメージ





触覚的イメージで、折ったりしりを作ったりして再現した。

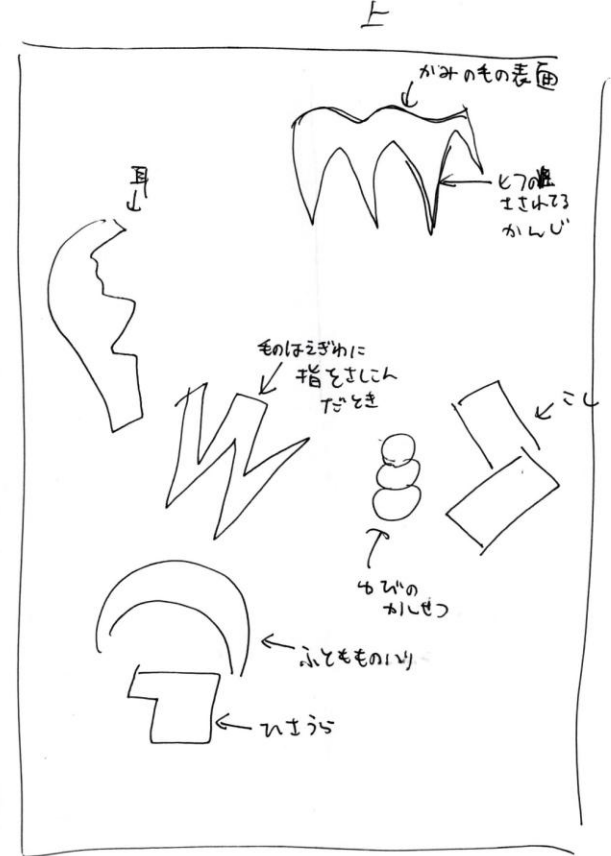




12番 大田実生

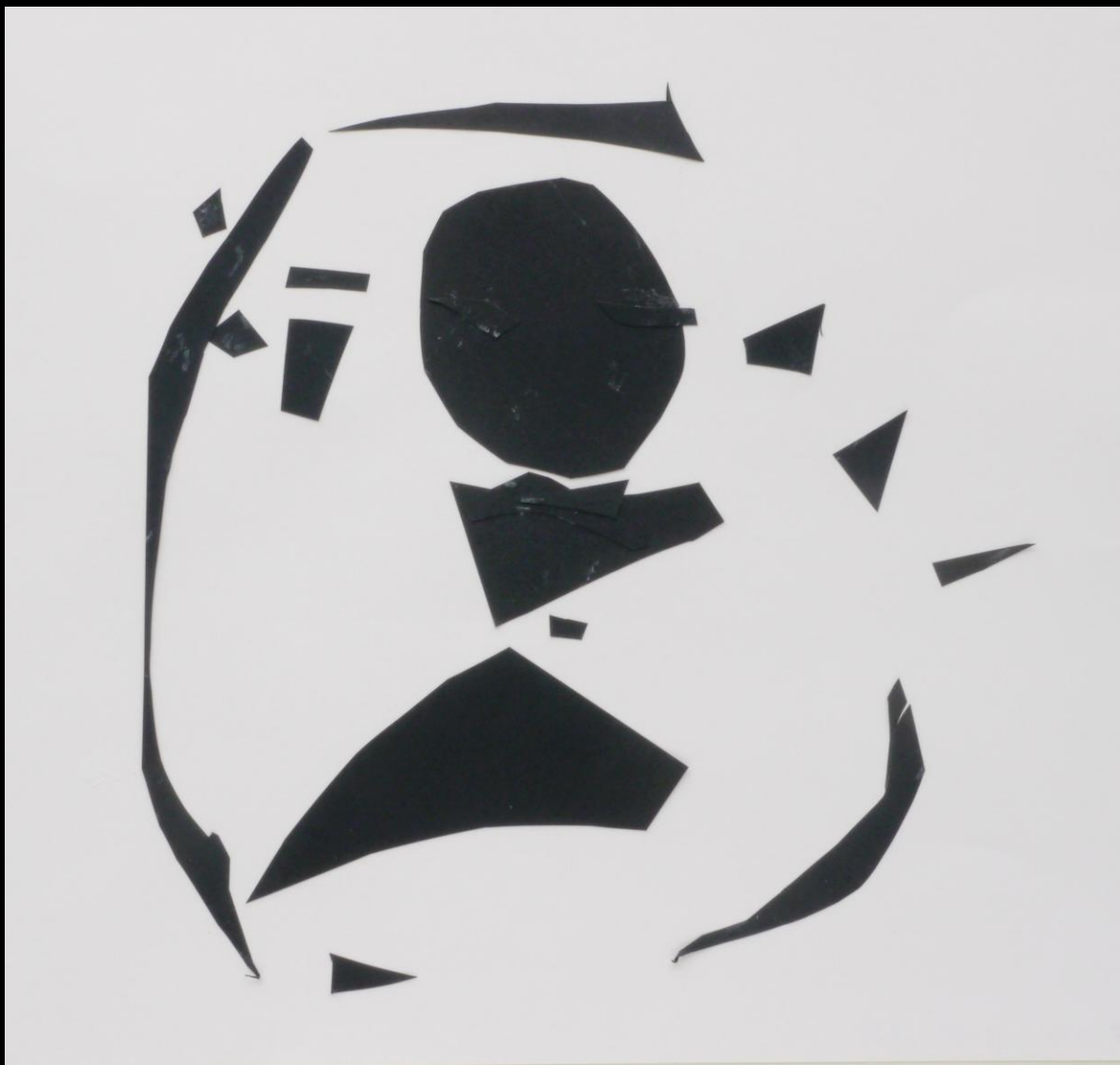
030

毛のはえぎわに指をさしこんだとき



下

位置関係が全然わからなくて難しかったぞ。
ま、すぐ切る、直角に切る、という事が困難でしたから、
と中から指の側面に沿って切るのはよいことに気が
つきました。指の形をみて切るの、がかなり役に
立ちました。見てみたら、今まで見たことあるアタマ
かなりからかりした。

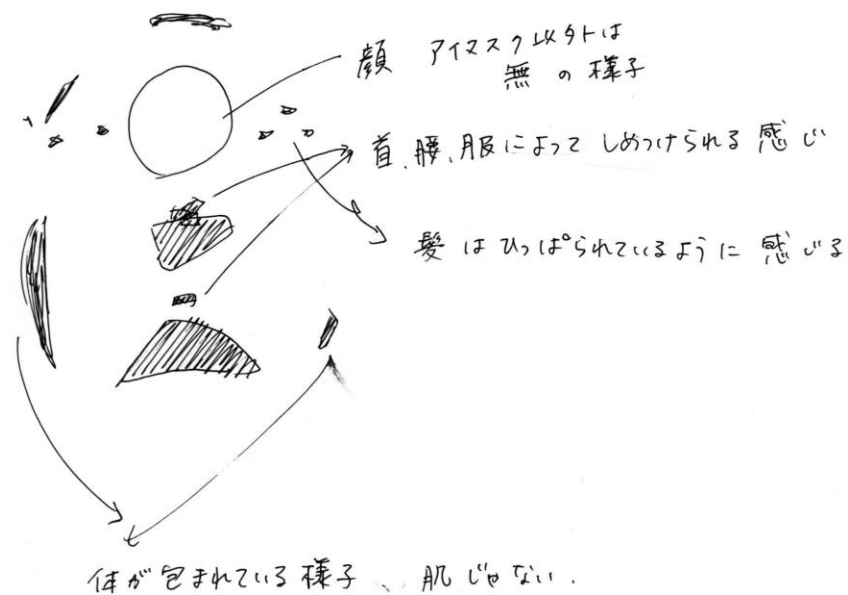


053

視覚をかくした時に、肌にかかる服の感覚に強く意識がむいた。

顔の下半分はかくされていないこと 何もふれていないこと、あまり意識はむかなかったが、

首や腰あたりの服によって体がつつまれていることを感じた。



手でいろいろな部位を触り、肌と肌以外をより感じた。

肌にふれる服の感覚に強く意識がむいた
何も触れていない部分は意識が向かない

構造

自分と自分を取りまくものの構造

正方形・キューブ

円環構造・多層構造

白と黒

自分と自分を取りまくものの構造

作品解説



気分がゴッゴ変わる。
外枠の感情が剥がれて
次の感情、その次の感情に
変わっていくところ。
白地(黒地)に黒地(白地)
を貼る。かへ人と被る気がして、
立体物を作る感じも自分ほい。



005



入れ子の感情



008

自分がやりたいことがたくさんあって手をのばそうとする自我を、
やりたくないがやらなくてはいけないことにうもれていく…

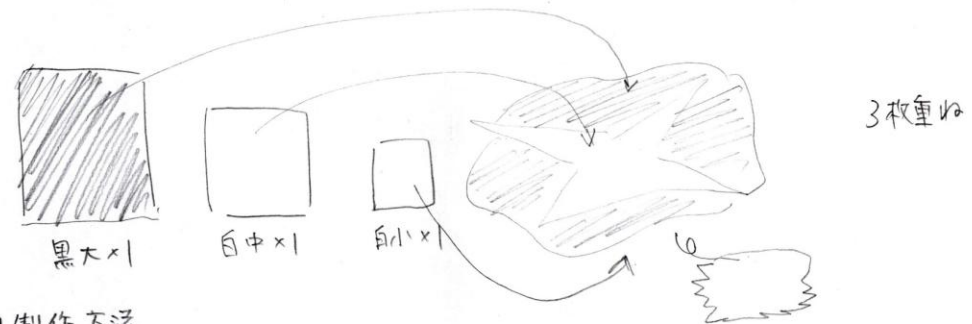
題名「卒制と就活に追われる限界大学生」

- ・切ったり やぶいたりして1つずつ違う出来事を表した。
 - ・白い部分が、自分がやりたいこと、好きなこと。
 - ・黒い部分が やらなくてはいけないこと「卒制や就活など」
- 自分がやりたいことがたくさんあって手をのばそうとする自我を
やりたくないが やらなくてはいけないことにうもれていく。引きずり-
こまれるような、そんな感じの作品にしたかった。



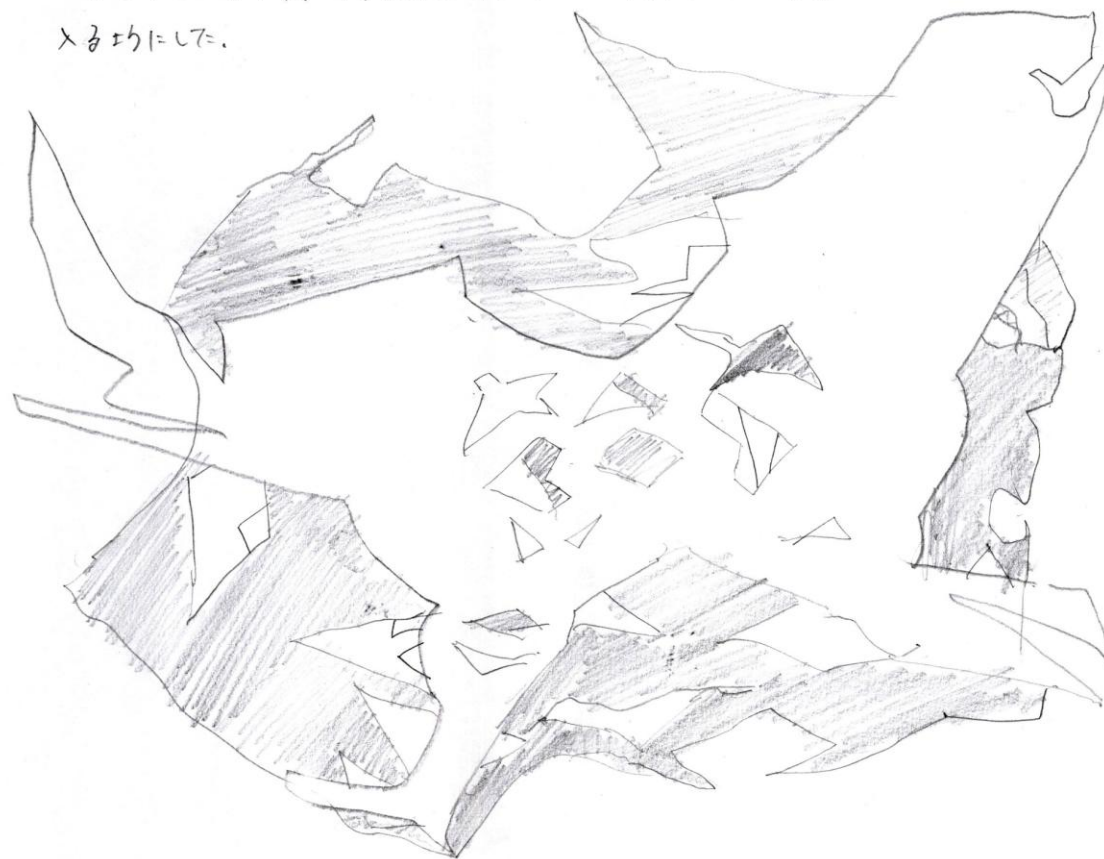


035

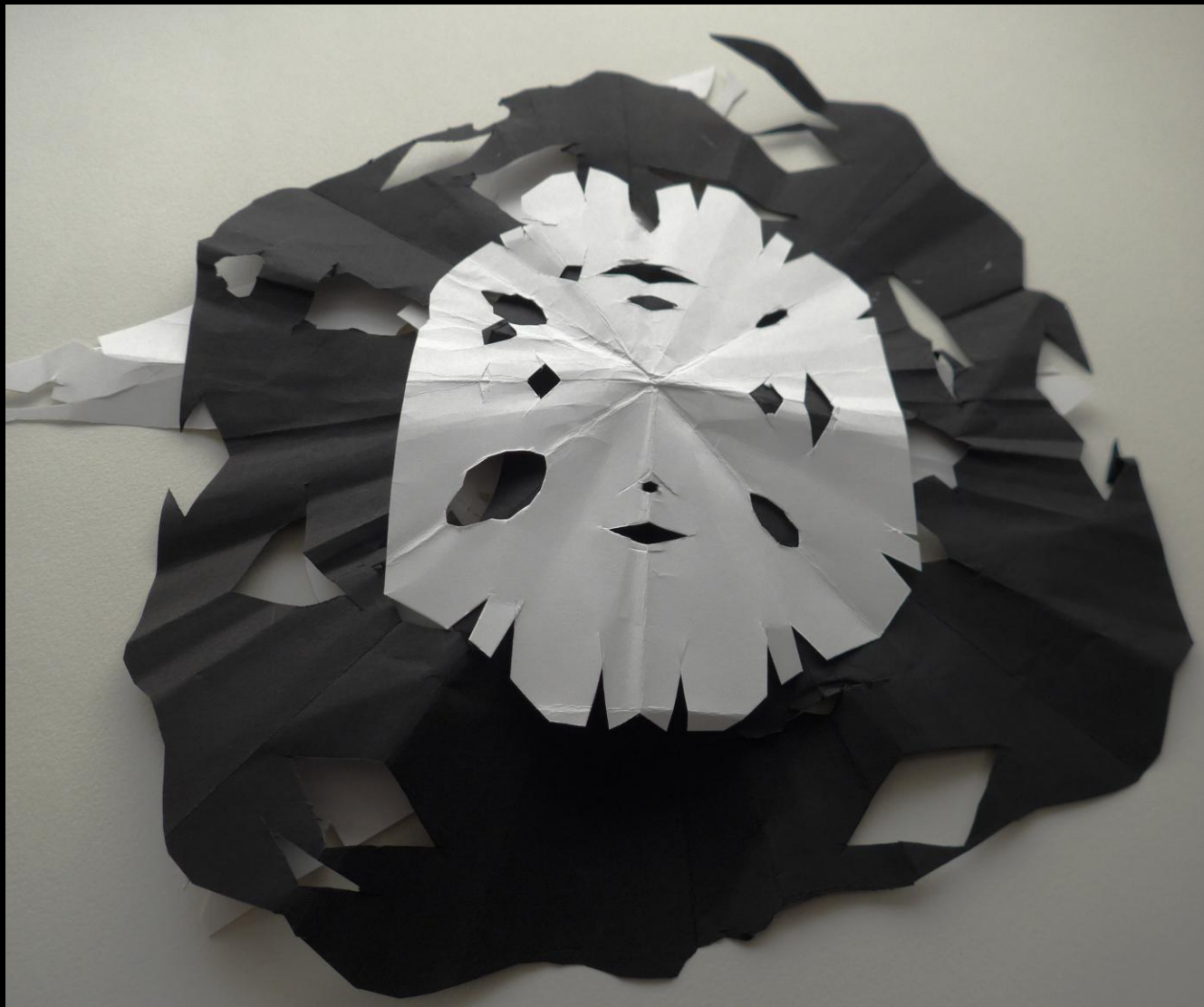


■ 制作方法

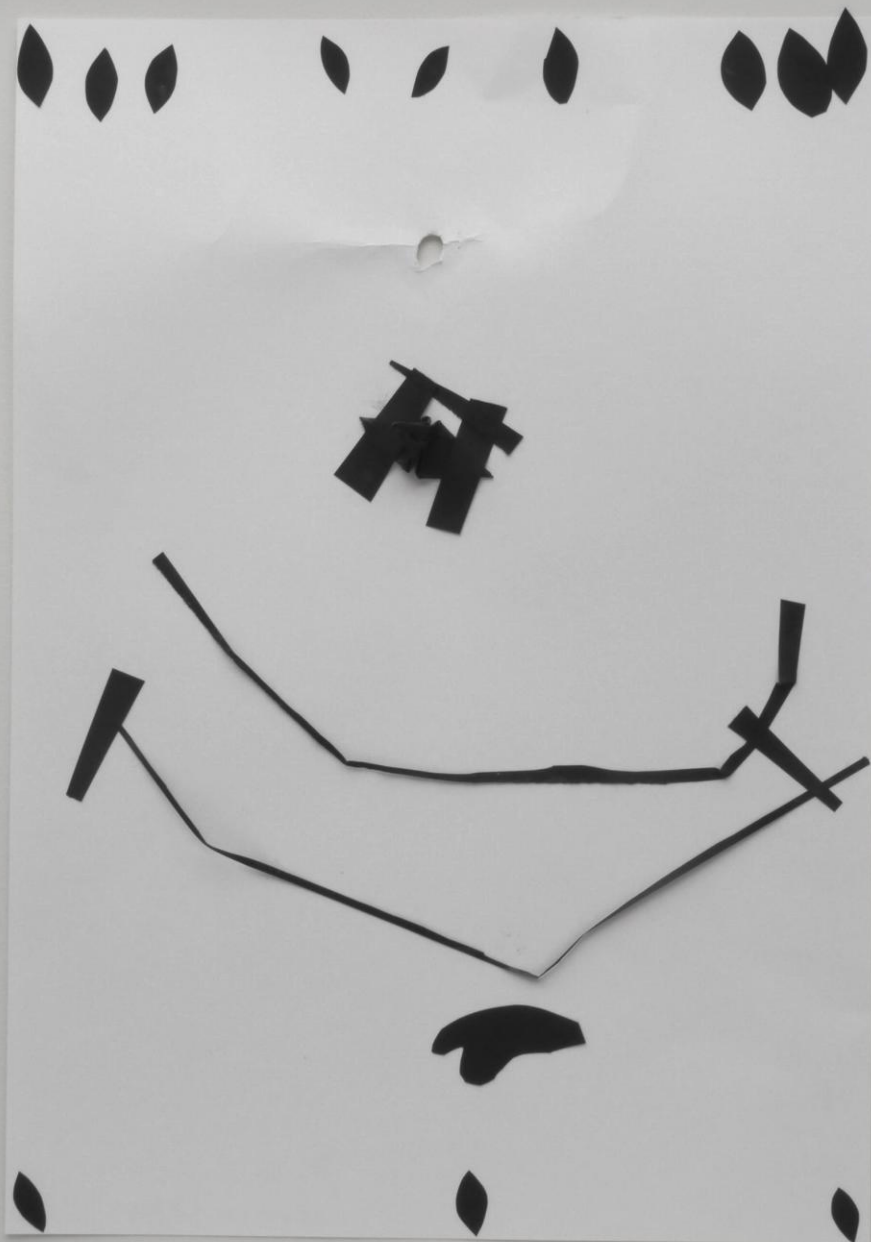
大中小の紙を真ん中を沫めて、色々な折りたたみ方をしから、切り込みをいれたり、切り離したり、様々な意図した模様が入るようにした。



3層が重なり合うことで、新たな形が見えてくる。



3層が重なり合うことで、新たな形が見えてくる



基準、穴、つる、ひも、基準が4行に並んだ構図。

目かくしをして作業をするのが初めてだったので、どう作業しやすいか、折り紙がつくれるか、どんなに細く切れるか、どうのり付けするか、の最高を探るつもりで作製した。

正方形・キューブ



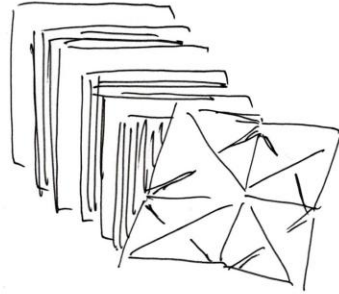
050

規律に縛られる

バラバラの「はず」のものなのに すべて正方形で整えられ

逸脱しようとしても新しい場所で 新しい何かに縛られている

生きている限り 常に何かの中で生きしかたない。



規律に縛られる

バラバラの「はず」のものなのに

すべて正方形で整えられ

逸脱しようとしても新しい場所で

新しい何かに縛られている

生きている限り常に何かの中で生きる

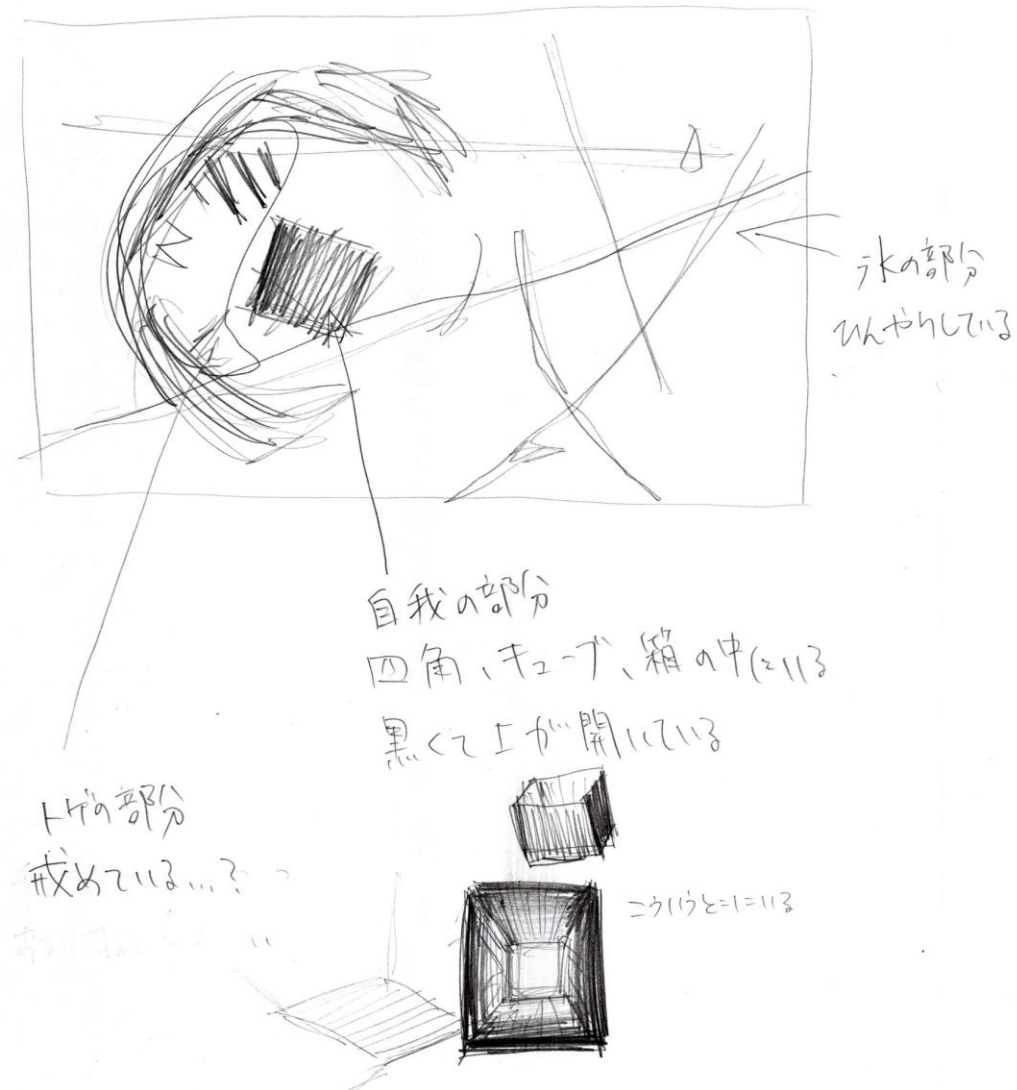
しかない





026

肉体の中の黒い四方体の中に自我である私がいる



無重力、冷たい平面空間の中の四方体に軟禁されている。
心霊的立体感覚をいかさずキューブ、四方体という存在が自我に
見受けられるようになった。


肉体の中の黒い四方体の中に自我である私がいる。

円環構造・多層構造



011

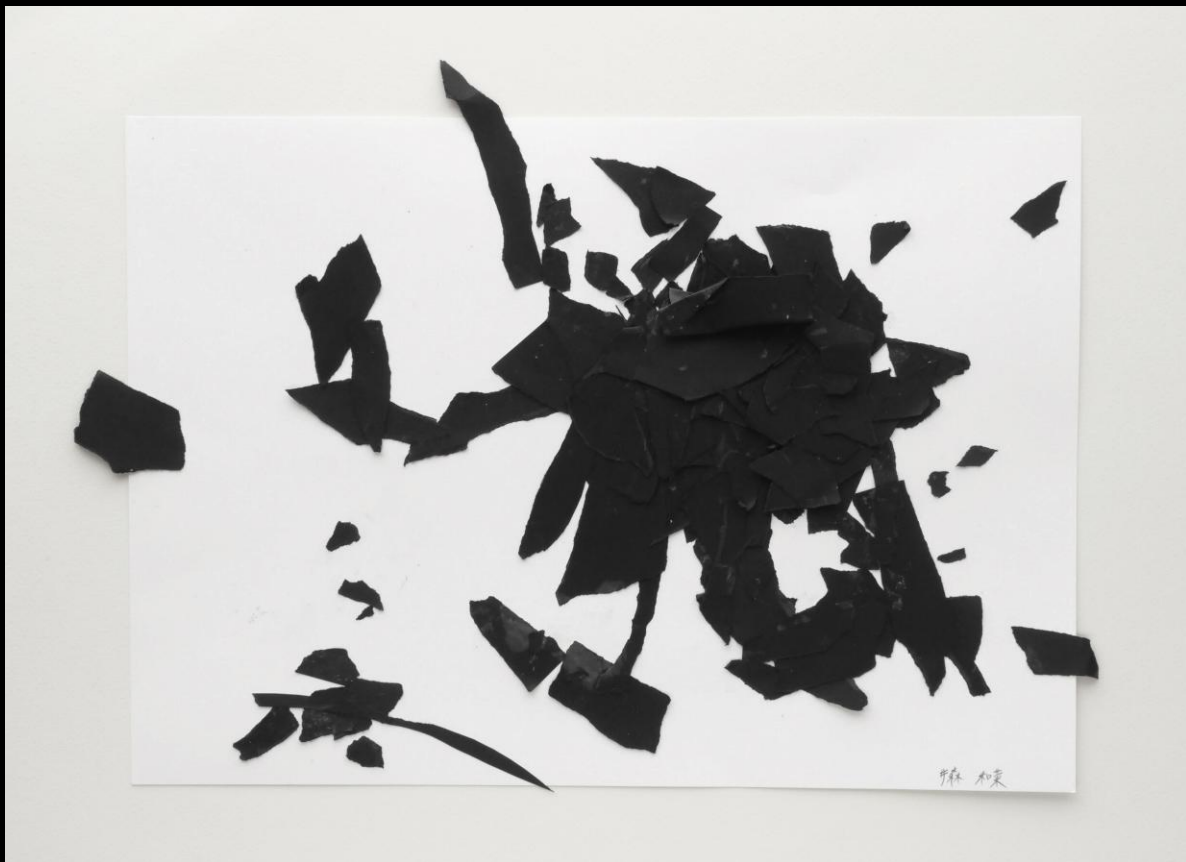


始めは  で円を作ろうと思ったが 想定より紙が足りなかった
ため、取手をつけた。
触感を楽しくさせたかったので白の上に黒を重ねた。
完結したものを作ろうとしている気がする。



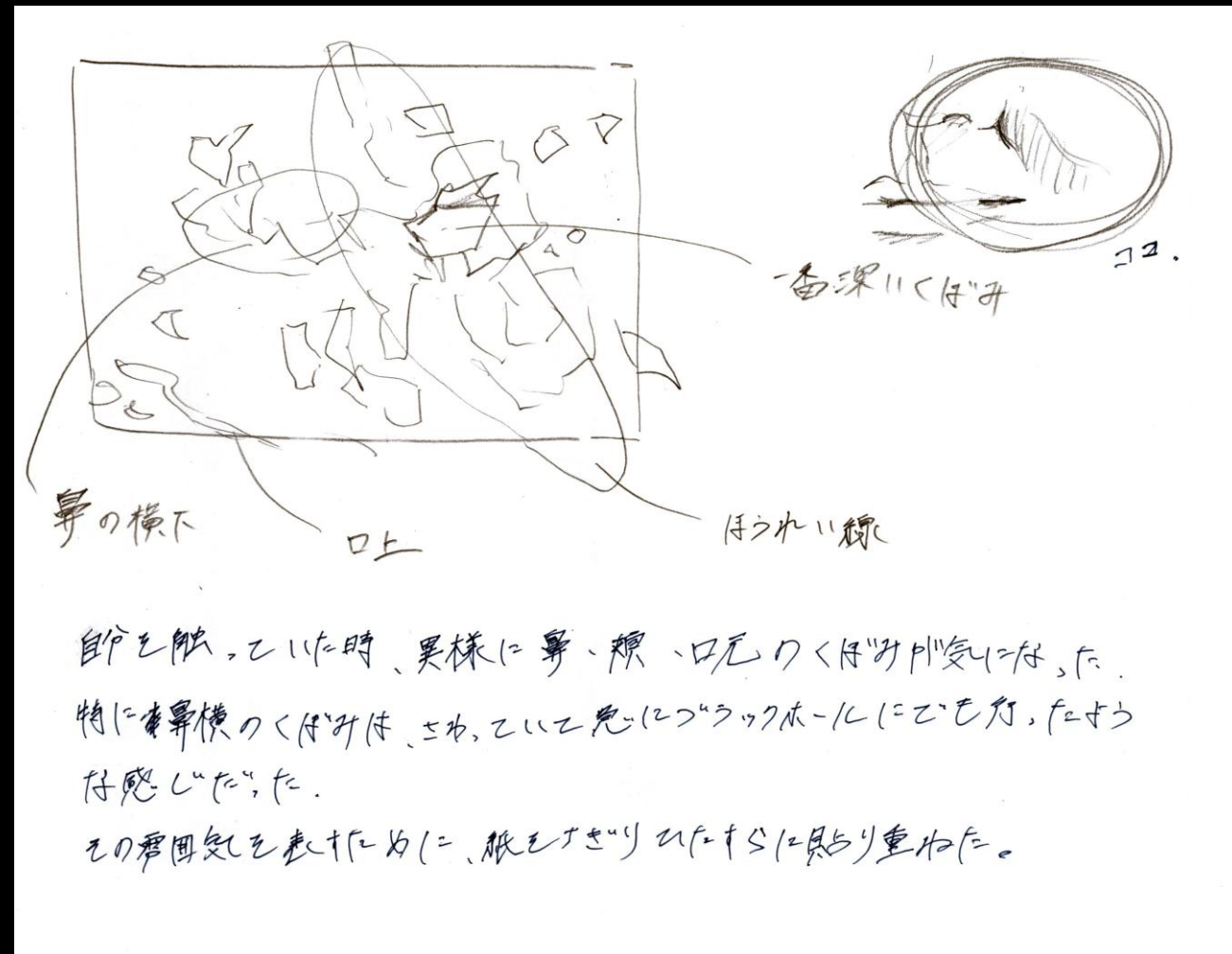
完結したもの





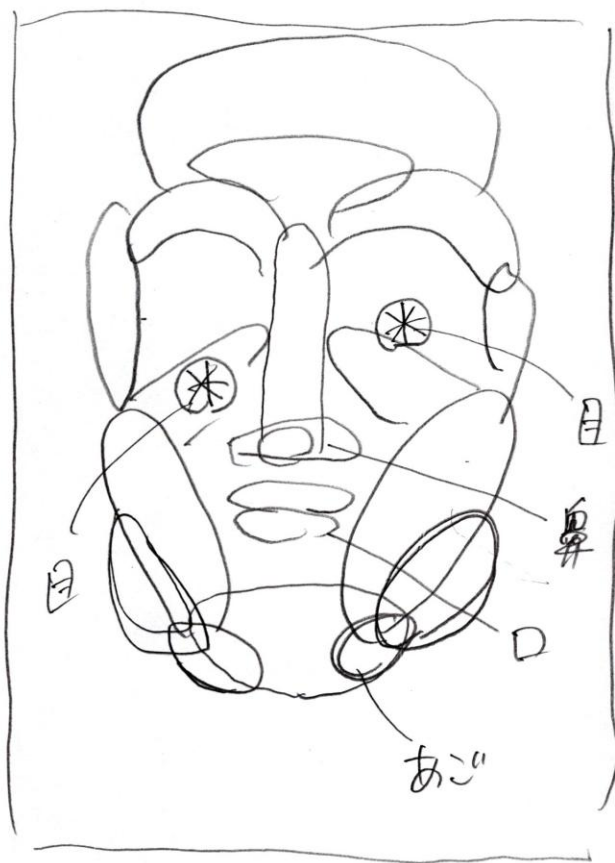
027

特に鼻横のくぼみは、さわっていて急にブラックホールにでもなったような感じだった
その雰囲気を表すために、紙をナギリひたすらに貼り重ねた





031



課題としておたかも、
すいこ真面目に
自分の顔をそのままかき写した。

あごのまるみをさいけんするために
向かいをかきおこす。

鼻で中心をかきおこす
おこす

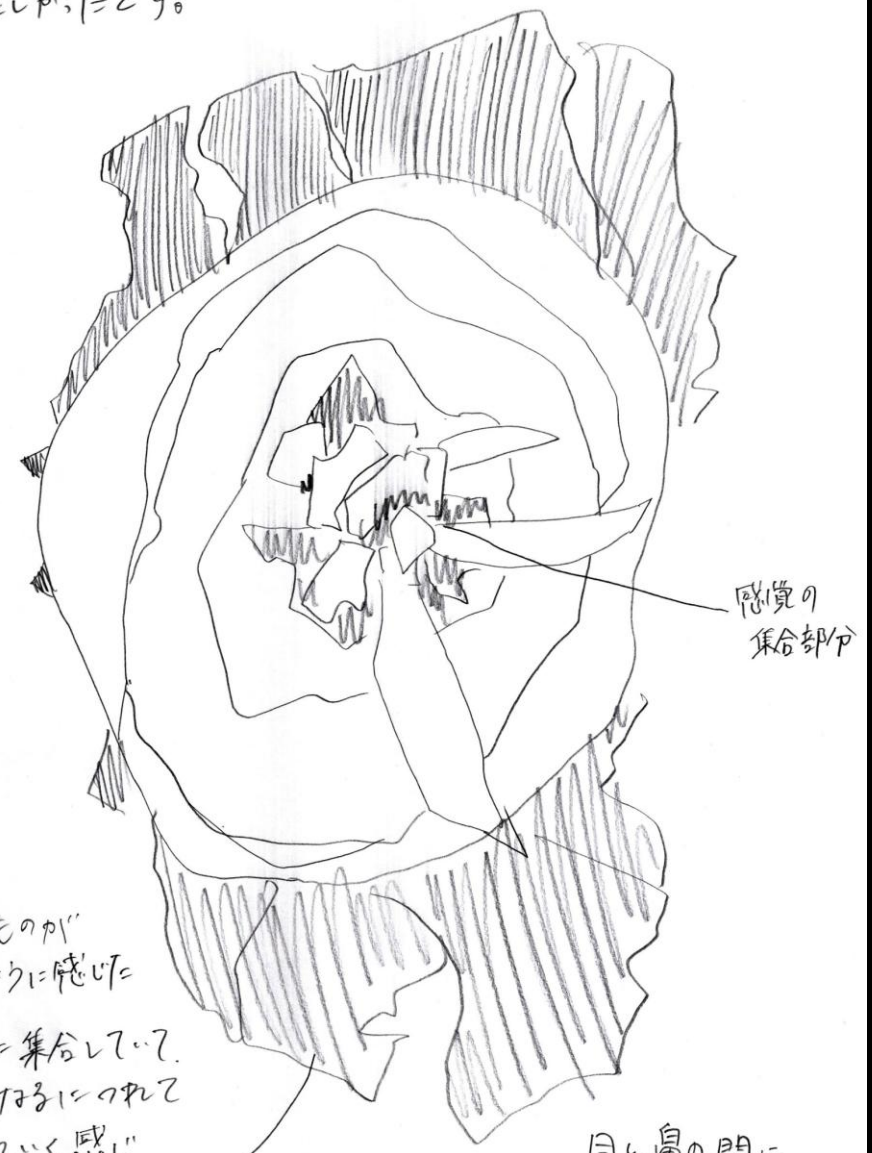
友人から目が「フジリホ」いって
いわれておりました。

左右差をたしかめて右目を消したら
思ったよりズレてました。



目がフジツボ

はさみが難しかった。2"す。



線というものが、
円錐のように感じ、
中心部に集合していて、
外側には外へ外へ
散らばっていく感じ

層で表現
黒のやぶれ

目と鼻の間に
すきとせがある
ほやけ



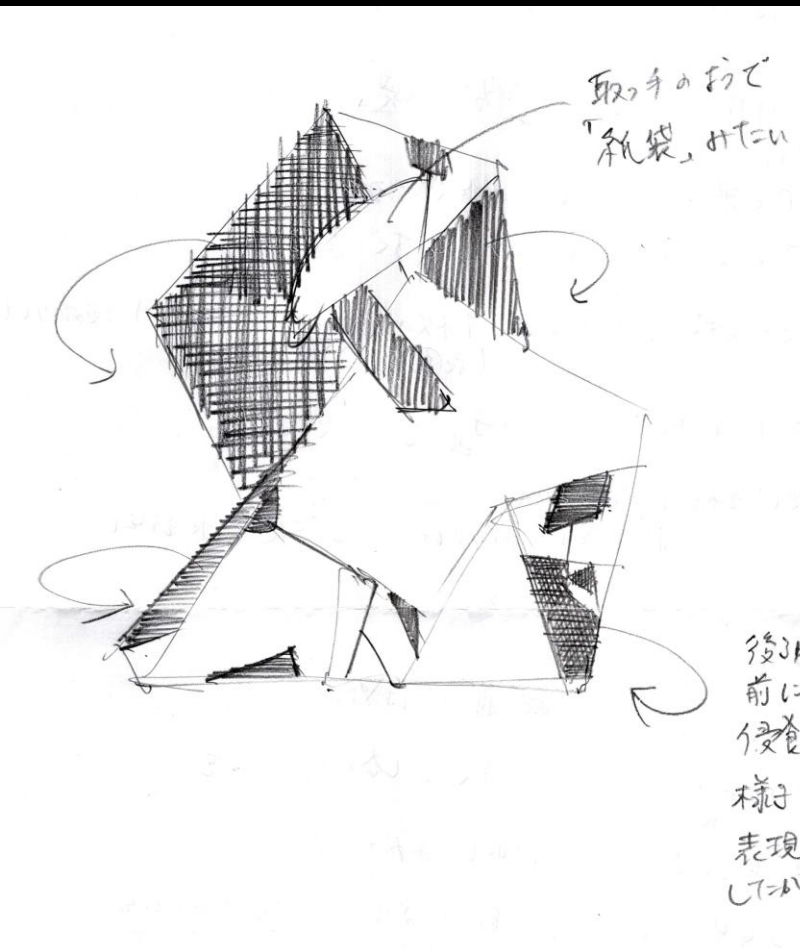
顔というものが円錐のように
感じた
中心部に集合していて、外側
になるにつれてぼやけていく
感じ



白と黒



034



●タイトル
自身の「表裏」(「別名: 紙袋」)

●コンセプト
白と黒の紙をもらってとき
「表と裏」を表現しよう、とすぐ思いました。

まず2枚を貼り合わせ、1枚の紙にし、切り取り、破りこ
(表①裏②)

お互いが侵食合う様子も表現しました。

更に2枚を折って、折ることで平面ではなく立体感をだそうしました。

●感想

率直に言うイメージ通りではなかったです。

むしろ表から裏まで侵食合う様子、と

破った質感で表現できればよかったです。

作品で見た友人からは取っ手があって、紙袋みたい
(おにいに見えるぞ)

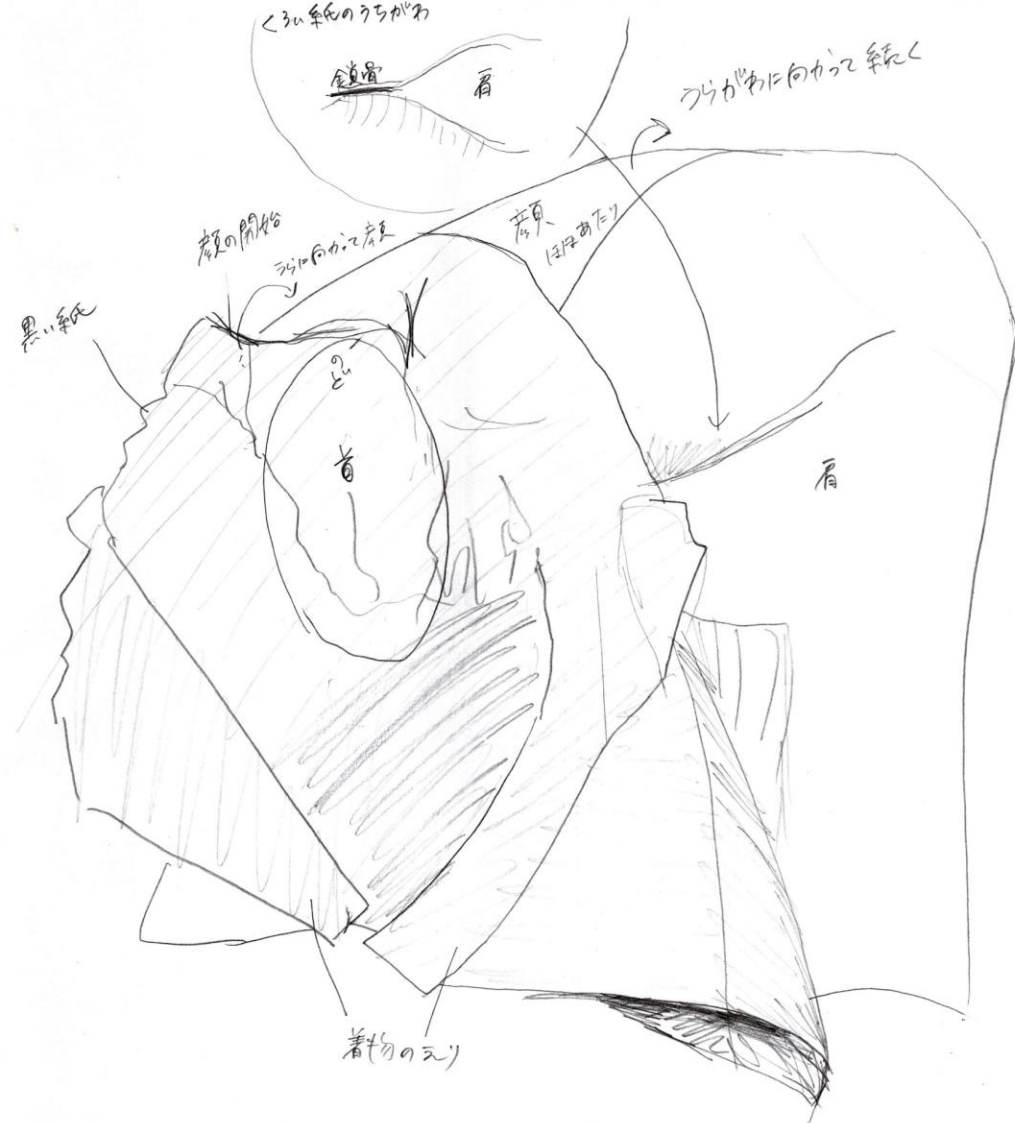
言われました。それもよかったかなと思って次第です。

自分の浸食しあう表裏 白と黒

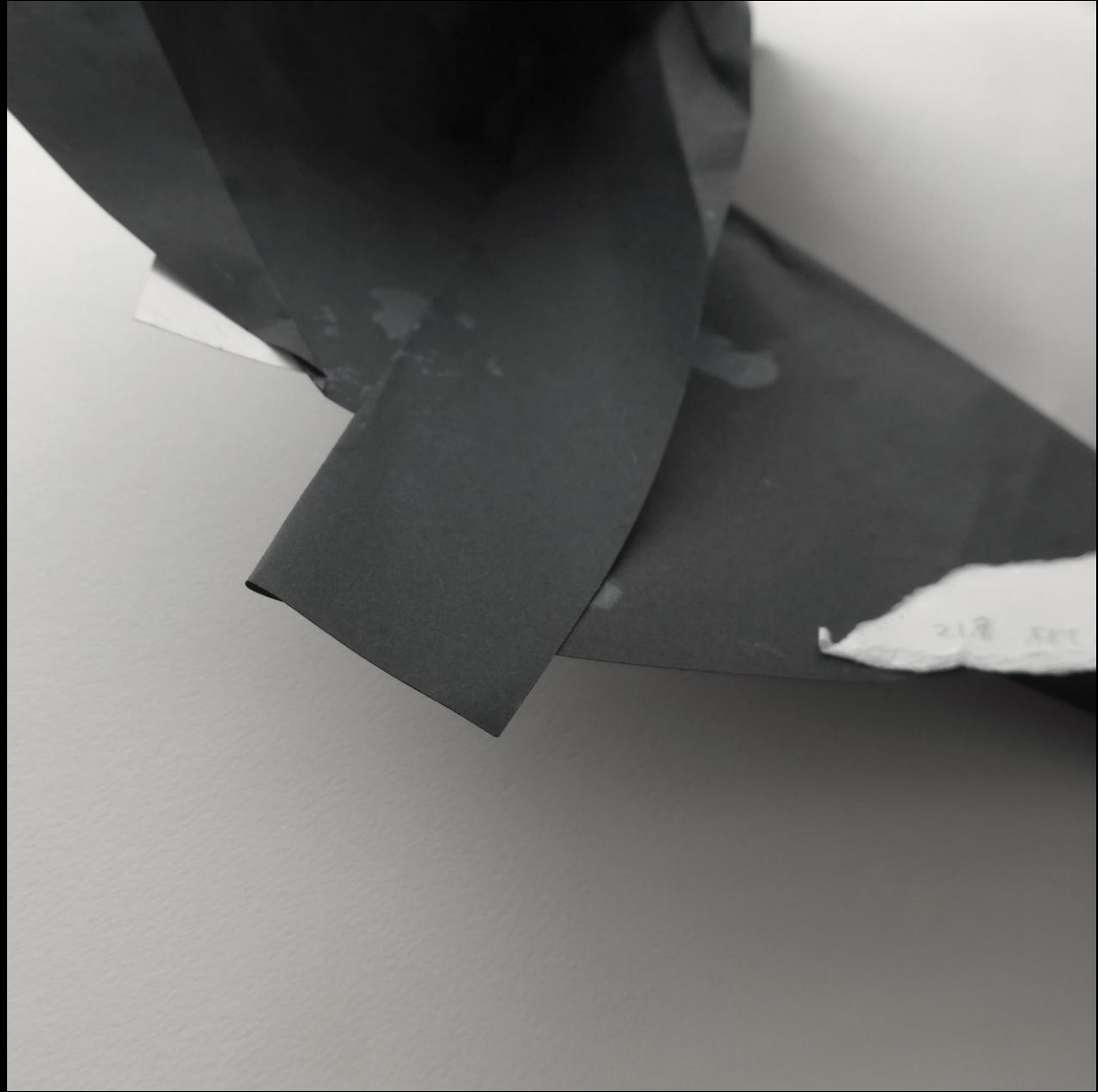
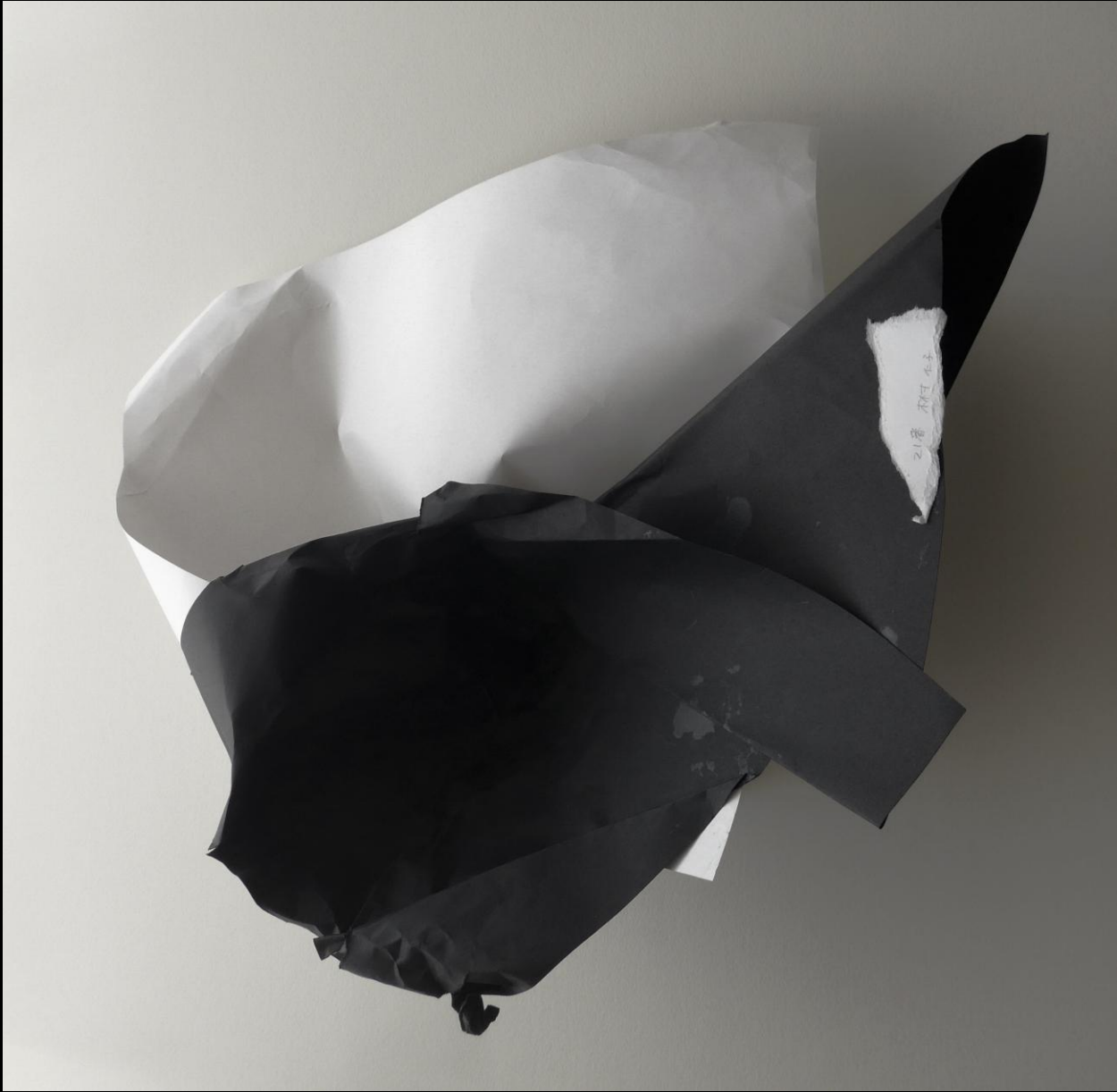




013



黒い糸は外から自分が触った感覚。白い糸はからだの中、骨肉をうごかした時に感じた感覚です。目と鼻と顔がどのように見えるか、手でさると顔がうらがわにうつっているような気がして。見えない状態だと糸を大きく感じた。黒い糸と白い糸のうらがわに手を入るとあうたに曲糸がでてくるのがおもしろかったです。



黒い紙は外から自分が触った感覚。白い紙はからだの中、骨、肉をうごかした時に感じた感覚
黒い紙と白い紙のうらがわに手をいれると、あらたに曲線がでてくる



052

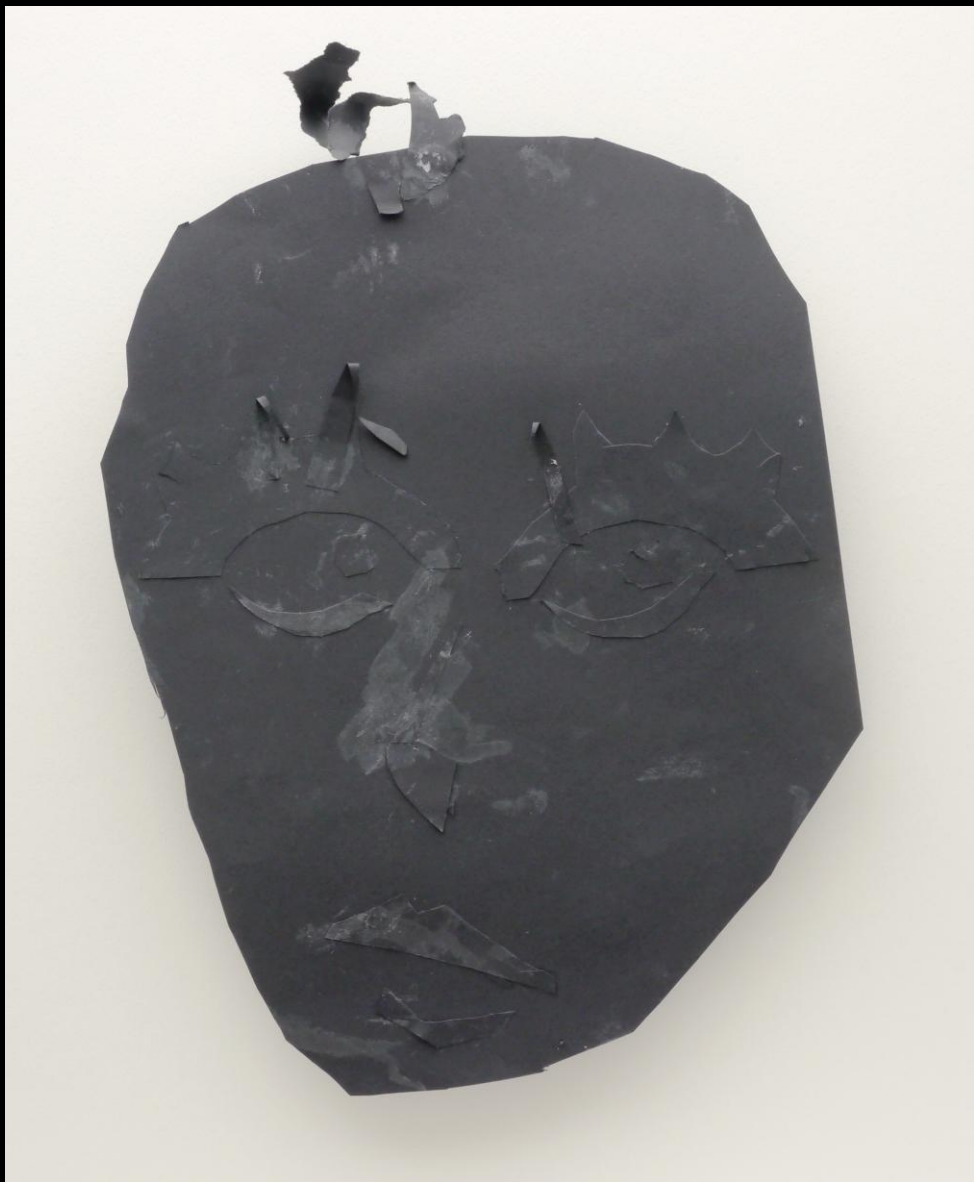
身体の中で左かのような感じを：とろに
かきわていくようにした。顔は17ではた足や、腰は1773
感じをういて部分でも左を然いると：そかすわ。
触覚から、アールのを然いとり、切り~~は~~はりしていった。





黒に黒

圧力を感じるころ



023



自分はよく人にまっげか長いと言われるので、
まっげの部分に特に注意しながらつくりました。
白の糸状の上に、黒で着真のハーツを作る
うと考えていたのだが、白の糸状かと思っていながら
黒い糸状で全て黒になってしまった。



白の紙だと思っていたのが黒い紙で
全て黒になってしまった

自我の消失点

剥がした痕跡

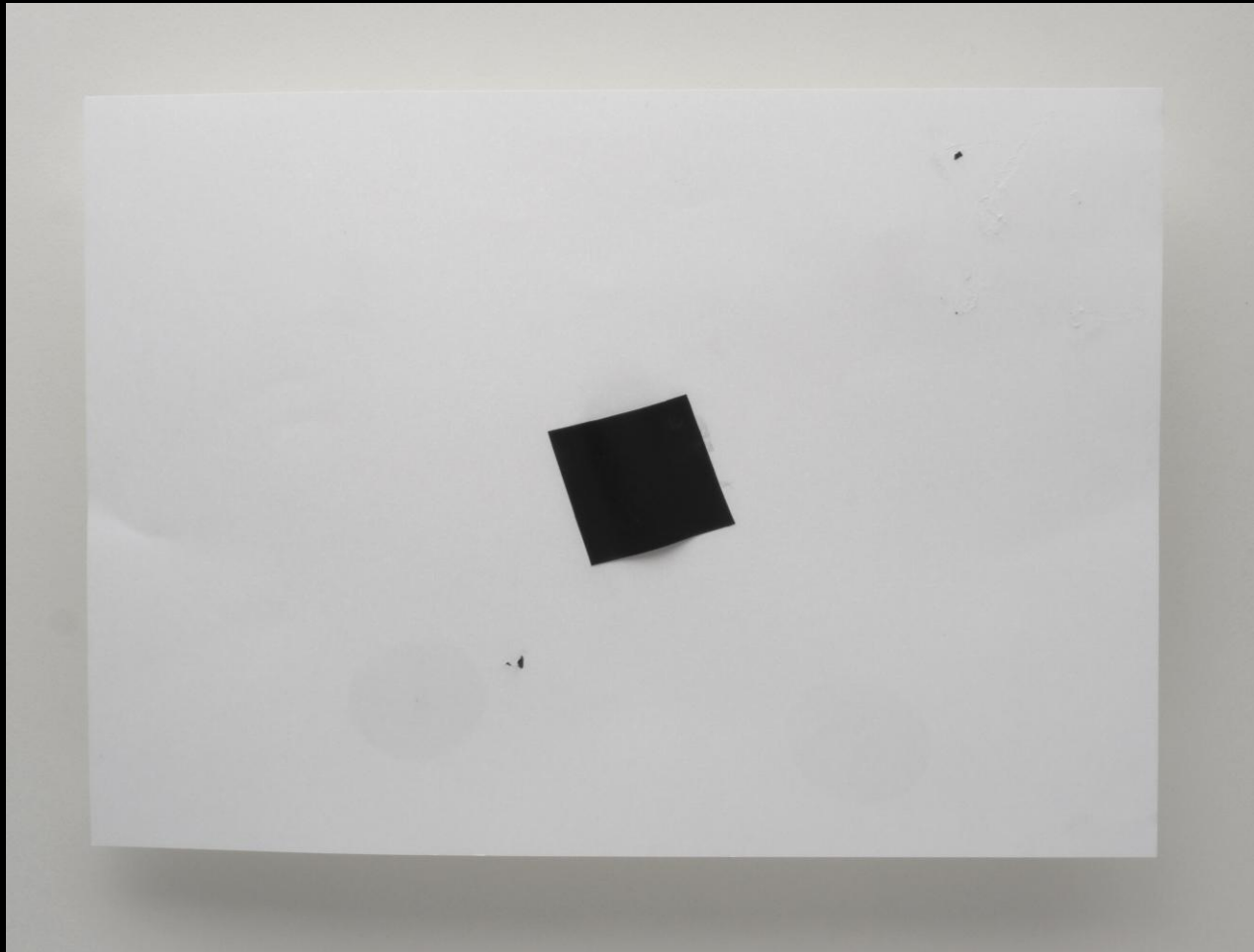
頭部は表現しない

ニキビ

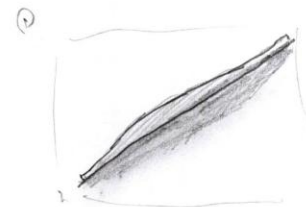
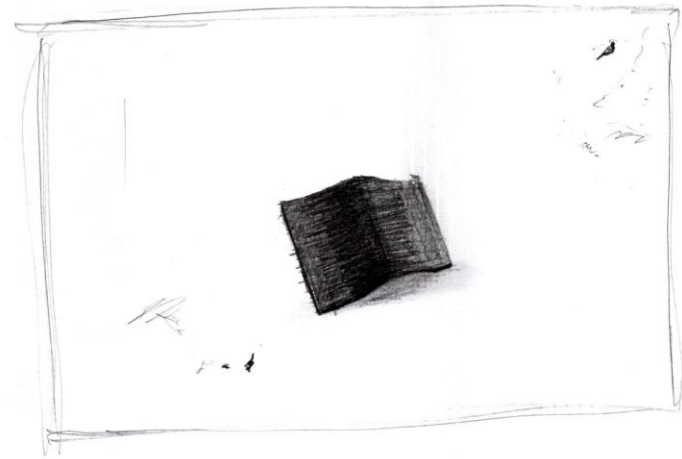
ビール

思考

本



036



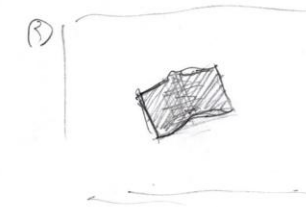
最初.

斜め1. ~~斜~~
斜を立てた。



斜め1. ~~斜~~
斜を立てた。

12817.
紙がわいて12817.



一枚. 正方向をセリ出し.

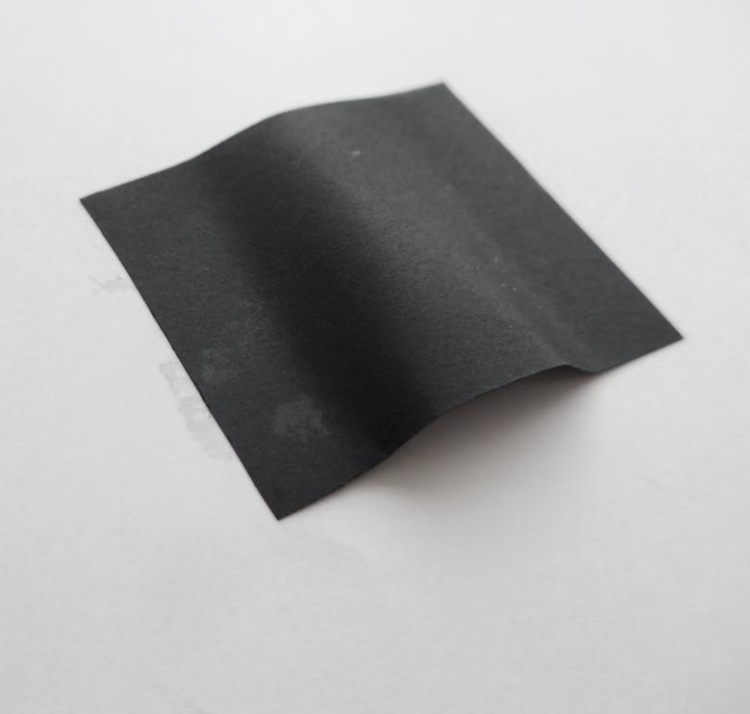
紙1. 空間がて"は".

~~空~~ ~~口~~ 開いて"は"と"は"
大. 小. 正. 右. 左. 上. 下. 中.
特着.

紙1.
~~紙1.~~
70/757
高めのと.
70/757
紙1.
常にあると.

一回 ~~紙~~ ~~紙~~ ~~紙~~
し
この紙も.
今のと.
"紙"像
である.

紙1.



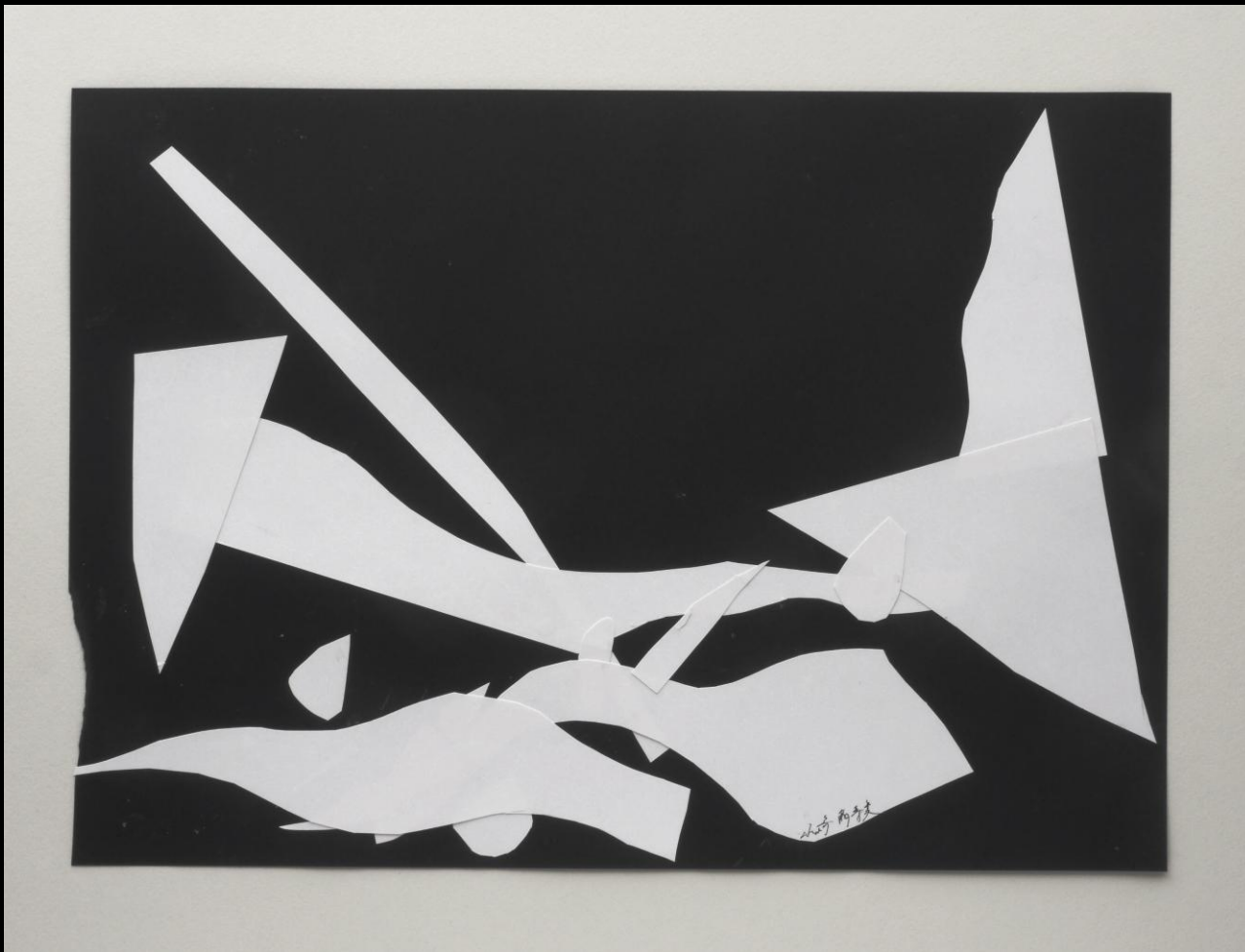
最初 斜めに紙を立てた
気に入らなくてはがした
跡がついてしまった



一枚、正方形を切り出し
中央に空間ができ
開いているところが大小となるように、、、

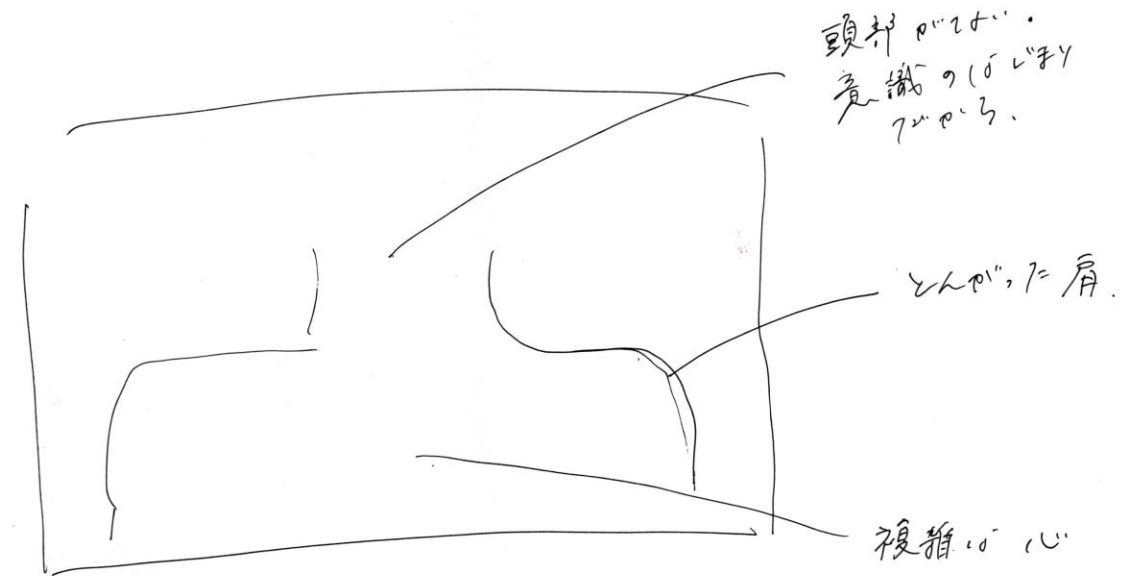
私はクォリティ高いものをつくりたいという意識が常にあるので
一回はがした

この行為も含めて”自画”像である



044

胸から頭への自分の感覚を表現。胸から頭への
 糸を解き解いて。肩から伸びている。その中にいろいろな
 糸の束。要素が散らばっている。頭首からその
 様子が出てくる。頭部の意識が強く出てくる。これを
 逆に、表現をしていないこと。表現している。

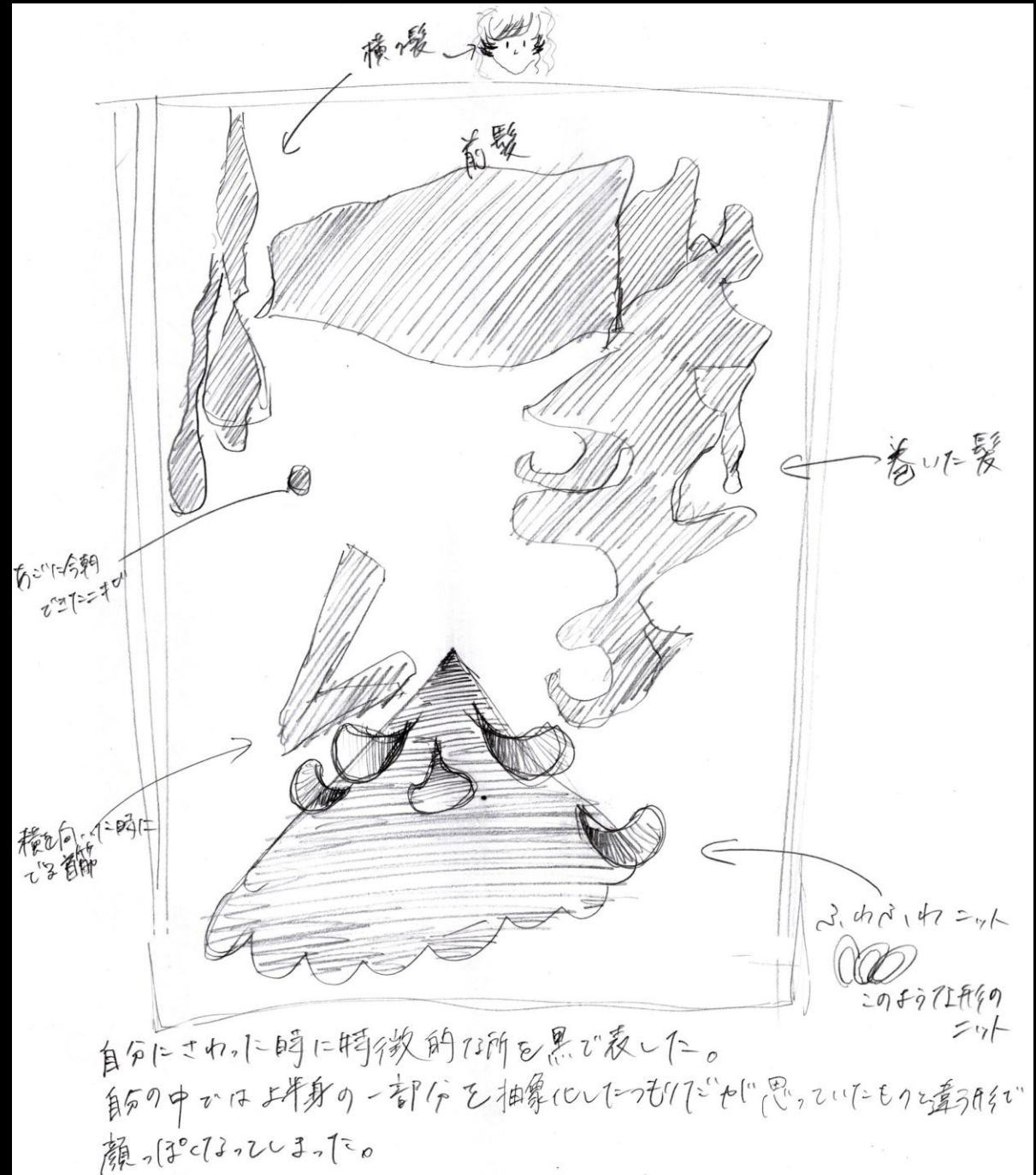


首から上の様子はなく、頭部への意識が強すぎたことを逆に、表現をしてないことで、表現しています



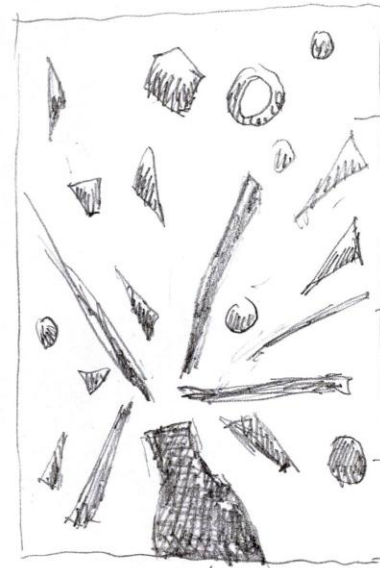
045

今朝できたニキビ 顔っぽくなってしまった





018



生ビール瓶

ビールを開けた瞬間、泡とガスが勢いよく飛び出す。

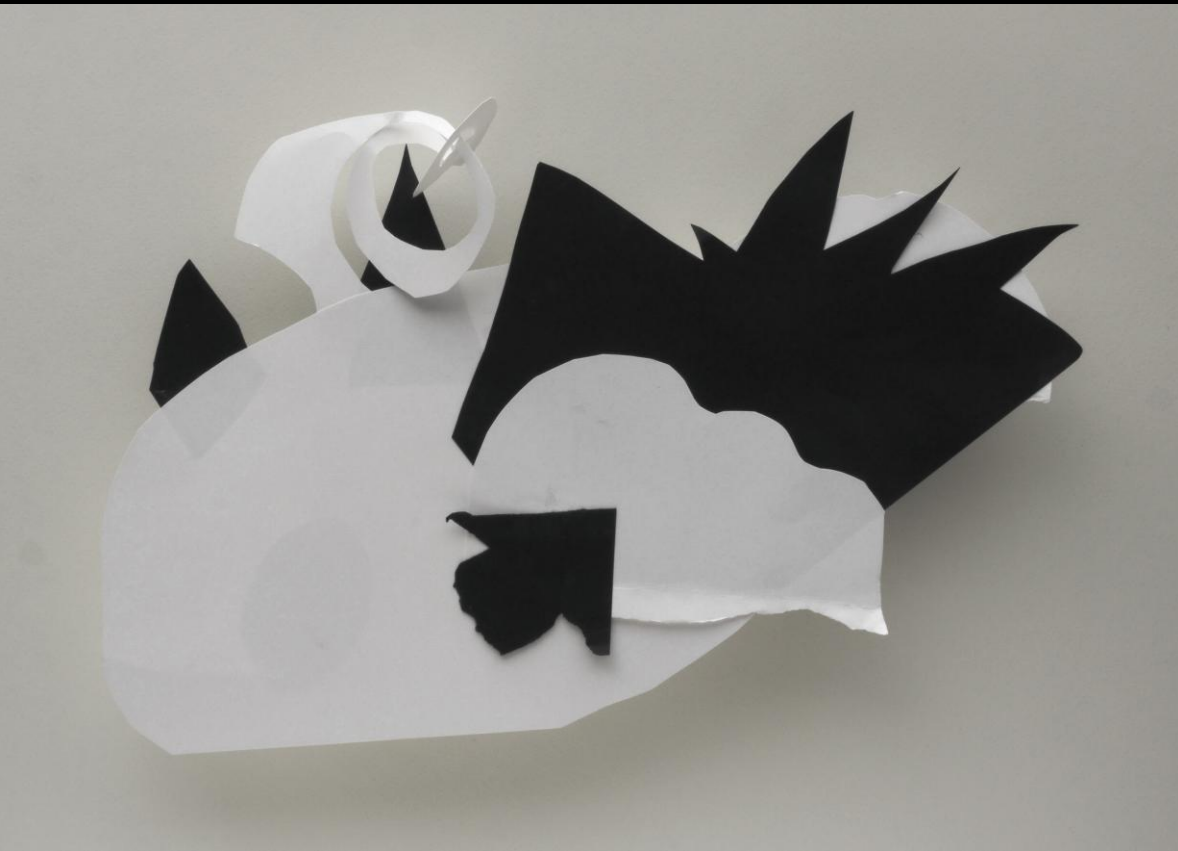
気体

泡

ビールを開栓した瞬間を切り取ったものです。

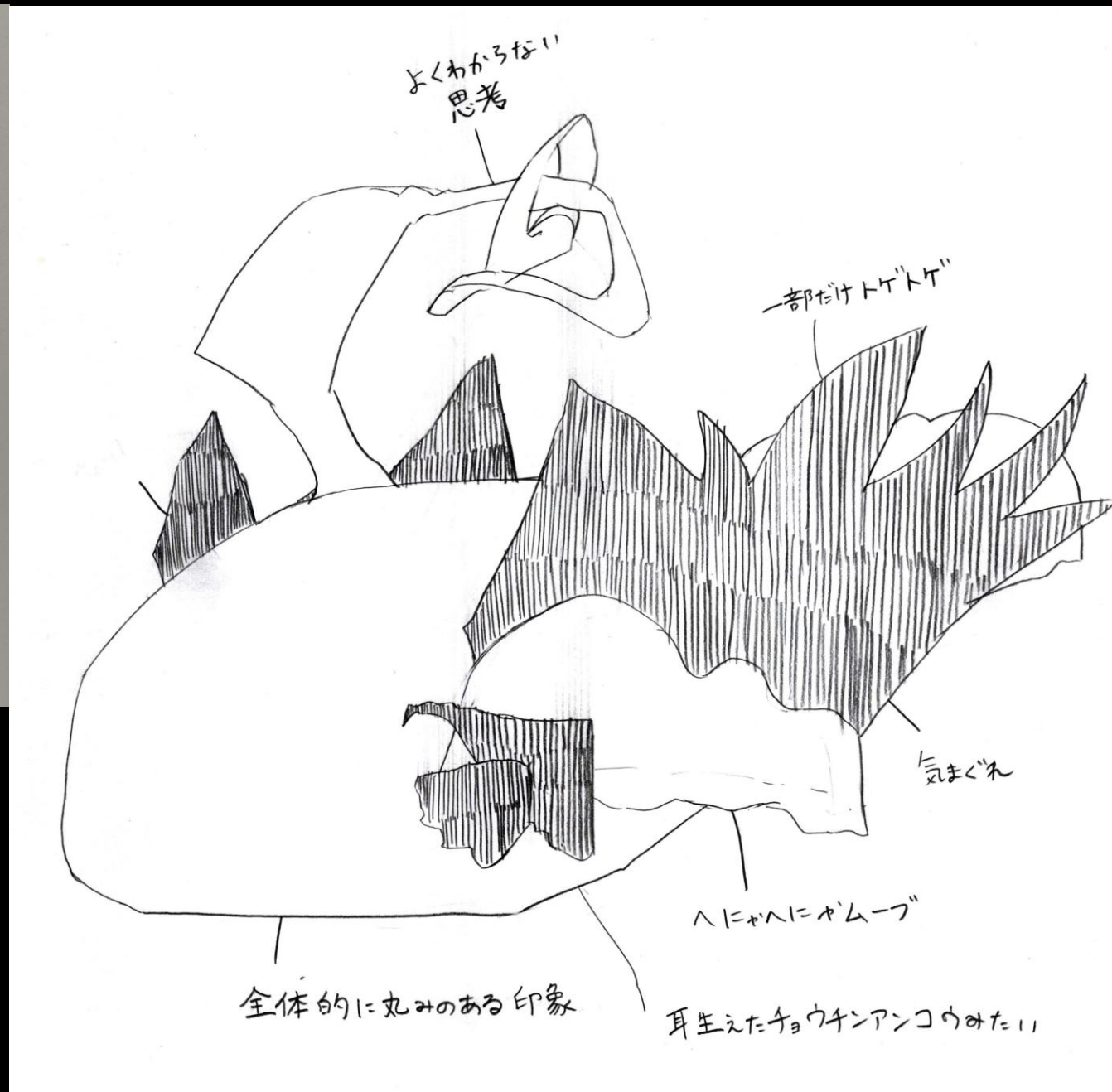
キンと冷えた瓶の中から、勢いよく泡とガスが弾けるようにあふれ^{出し}~~もどす~~。

一瞬にして躍動感に満ちたドラマが広がります。

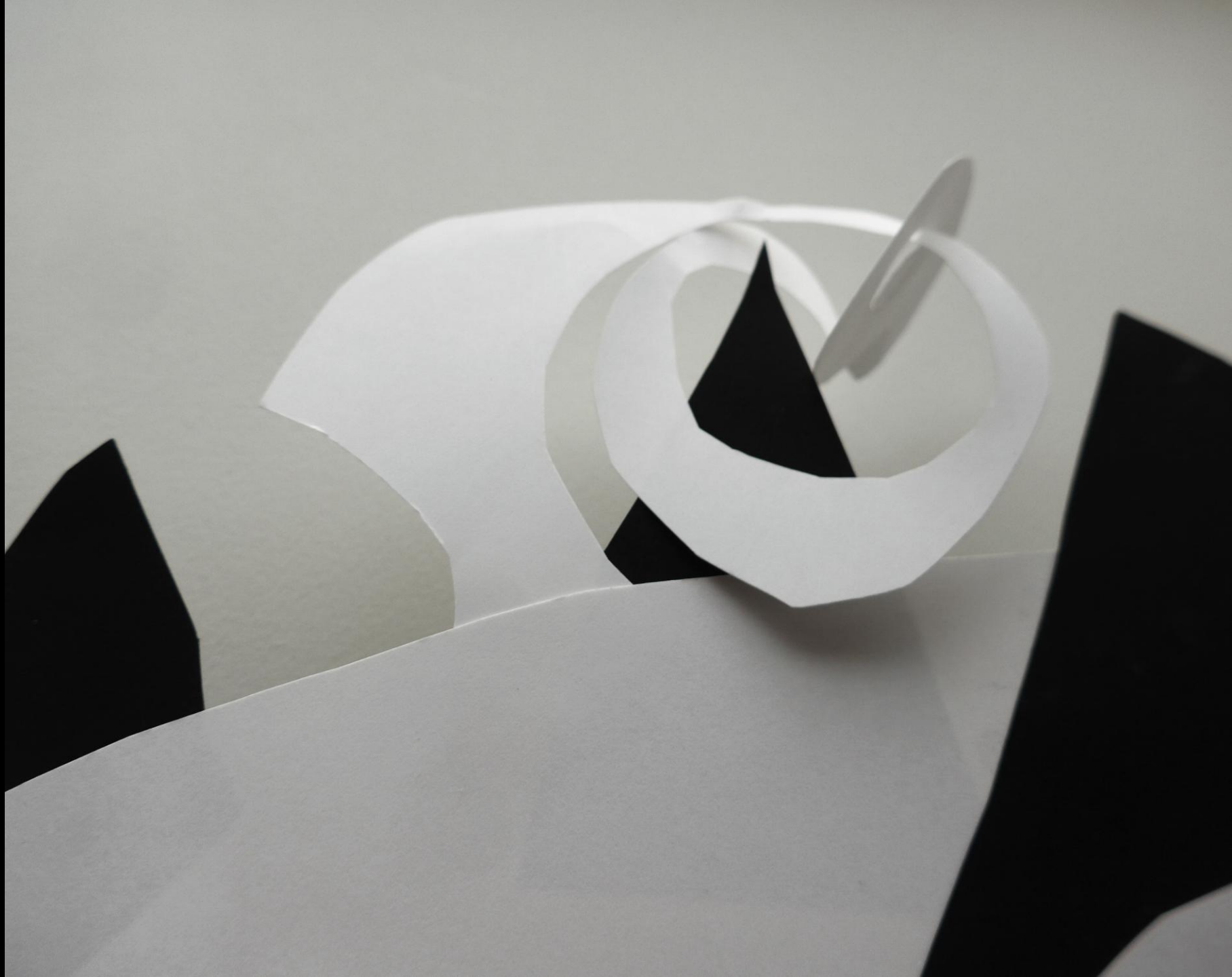


055

よくわからない思考

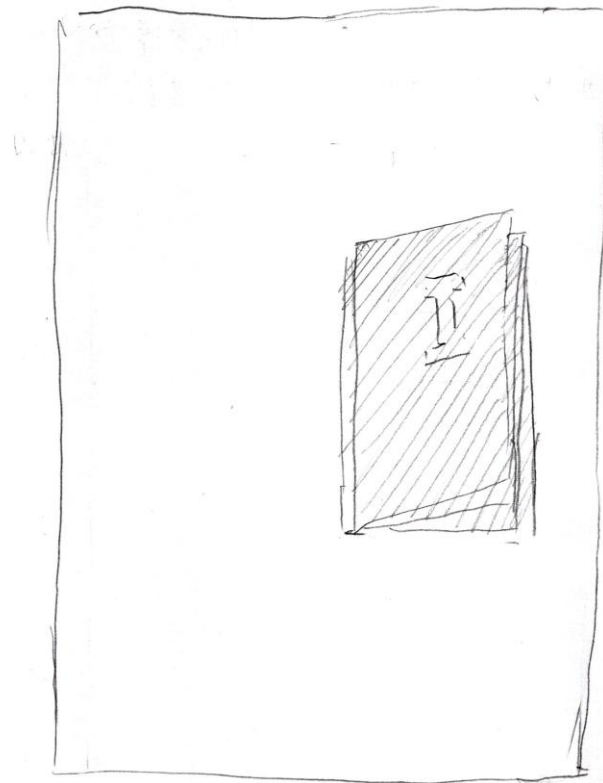
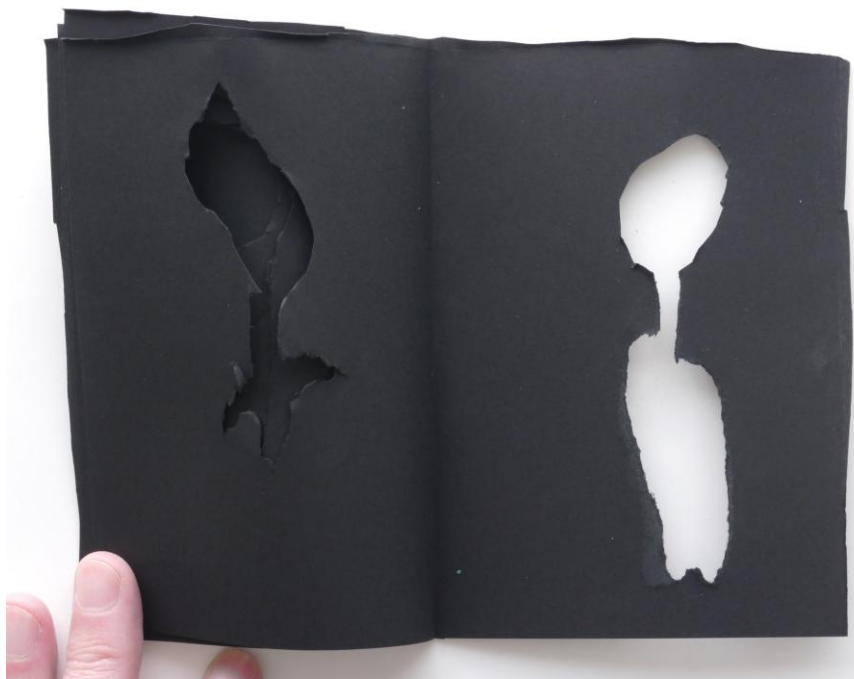


耳生えたチョウチンア
ンコウみたい





033



自分を定義するのは
苦手なので

自分をどう定義してほしいか?という

自己紹介をすることにした

1枚の絵だけで私のことが伝わらないよねッ
という変なプライドが「本をつくろう」と言ってきたので
つくった

最終ページは白の紙

自分を定義するのは苦手なので、

自分をどう定義してほしいか？

という自己紹介をすることにした。

1枚の絵だけで私のことわかった気にならないでよね

という変なプライドが「本をつくろう」と言ってきたので

つくった

最終ページは白の紙